

昭島市スポーツ推進計画

令和4年度～令和8年度

令和4年3月

昭島市教育委員会

はじめに

昭島市では、スポーツ基本法に基づく地方スポーツ推進計画として、平成28(2016)年度から令和3(2021)年度までを計画期間とする昭島市スポーツ推進計画を策定し、「すべての市民がスポーツを通して心身ともに健康で明るく豊かな生活を送ること」を基本理念として、様々なスポーツ施策に取り組んでまいりました。この間、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック大会などの国際的な大会の開催を契機に、スポーツへの機運が一層高まっております。

スポーツを取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、これまでの取り組みを継承しつつ、新たに策定した昭島市総合基本計画及び昭島市教育振興基本計画との整合を図り、市民のスポーツ活動をより一層推進するため、令和4(2022)年度から5か年を計画期間とする昭島市スポーツ推進計画(以下「本計画」という。)を新たに策定いたしました。

本計画に定める4つの基本施策を着実に実行していくため、新たな基本理念である「誰でもより 楽しく ～スポーツで繋がる 楽しいあきしま～」を実現できるよう、市民の皆様をはじめ、昭島市スポーツ推進委員や昭島市スポーツ協会、くじらスポーツクラブなどのスポーツ関係団体と連携・協力し、さらなるスポーツの推進に取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご審議いただきました昭島市スポーツ推進計画策定委員の皆様をはじめ、パブリックコメントなどを通じて、ご意見をお寄せいただきました市民の皆様、関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

令和4(2022)年3月

昭島市教育委員会

目次

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨	4
2 計画策定の背景	4
(1) 国の動き	4
(2) 東京都の動き	6
(3) 昭島市の動き	7
3 計画における「スポーツ」	7
4 計画の位置付け	8
5 計画の期間	9
6 社会状況の変化と課題	9

第2章 昭島市スポーツ推進計画の現況と課題

1 昭島市スポーツ推進計画の検証（平成28（2016）年度～令和3（2021）年度）	12
(1) 進捗状況	12
基本施策1 誰もがスポーツに親しみ、取り組むための支援の充実	16
基本施策2 競技スポーツを楽しむ環境づくり	18
基本施策3 スポーツを支える人づくり	19
基本施策4 スポーツを通じた地域の絆づくり	19
(3) 数値目標の達成状況	21

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念	26
2 数値目標	26
3 施策体系	27
4 SDGsとの関連	28
基本施策1 スポーツに触れ合うための機会の充実	29
基本施策2 スポーツを楽しむ環境づくり	31

基本施策3 スポーツを支える人材育成・地域交流の促進.....	32
第4章 計画の推進	
1 関係機関との連携による計画の推進.....	36
2 PDCAサイクルによる計画の進行管理	37
資料	
1 昭島市スポーツ推進計画策定委員会要綱	40
2 昭島市スポーツ推進計画策定委員会 委員名簿	41
5 一般社団法人 昭島市スポーツ協会加盟団体と会員数	47
6 「昭島市の市民スポーツに関するアンケート調査」結果.....	48
6-1 調査概要	48
6-2 調査結果の概要	49
6-2-1 一般調査結果	49
6-2-2 一般調査アンケートグラフ.....	54
6-2-3 一般調査クロス集計（一部抜粋）	65
6-3-1 中学生調査結果.....	66
6-3-2 中学生アンケートグラフ	68
6-4 調査結果のまとめ.....	73

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

市では、平成 28（2016）年から令和 3（2021）年までの 6 年間を計画期間とした「昭島市スポーツ推進計画」に基づき、「より健やかに より豊かに ～スポーツで育む 元気都市あきしま～」を基本とし、市民の生活の質的向上や活力ある地域社会の実現を目指し、「いつでも どこでも いつまでも」を合言葉に、スポーツ振興に取り組んできました。

令和元（2019）年開催のラグビーワールドカップ 2019 に続き、令和 3（2021）年に延期開催となった東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の開催を契機に国際的な大会が国内で開催され、スポーツに対する機運が高まり、スポーツ観戦やボランティアとしての運営支援、競技者としての挑戦など、様々な立場でスポーツへの参加機会の増加が見込まれています。

また、市の最上位計画である「昭島市総合基本計画」との整合性を図りながら、市民の誰もがスポーツに親しむための機会の拡充とともに、施設の環境整備に向けた中長期的な改修に取り組む必要があります。

「昭島市スポーツ推進計画」は、これまでの取組を基本としながら、国や東京都の状況を踏まえ、コロナ禍における新たな生活様式への対応も考慮する中で、すべての市民がスポーツを通して心身共に健康で明るく豊かな生活を送ることを目指して、新たな「昭島市スポーツ推進計画」を策定します。

2 計画策定の背景

（1）国の動き

国は、平成 29（2017）年、スポーツ基本法に基づく理念を具体化し、スポーツ施策の総合的かつ計画的な推進を図るための重要な指針となる「第 2 期スポーツ基本計画」を策定しました。

計画では、スポーツの主役は国民であり、国民に直接スポーツ機会を提供するスポーツ団体等であるとし、国民、スポーツ団体、民間事業者、地方公共団体、国等が一体となって施策を推進していくことが必要としています。

計画期間 5 年におけるスポーツ施策として、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった多様な形での「スポーツ参画人口」を拡大し、自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、前向きで活力ある社会と絆の強い世界を創り「一億総スポーツ社会」の実現を目指しています。

【国の計画概要】

中長期的なスポーツ施策の基本方針 ～スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life ～

スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、全ての人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創る。

1 スポーツで「人生」が変わる！

スポーツを「する」ことで、スポーツの価値が最大限享受できる。スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことでみんながその価値を享受できる。スポーツを生活の一部とすることで、人生を楽しく健康で生き生きとしたものにできる。

2 スポーツで「社会」を変える！

スポーツの価値を共有し人々の意識や行動が変わることで、社会の発展に寄与できる。スポーツは共生社会や健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化に貢献できる。

3 スポーツで「世界」とつながる！

スポーツは「多様性を尊重する世界」「持続可能で逆境に強い世界」「クリーンでフェアな世界」の実現に貢献できる。

4 スポーツで「未来」を創る！

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を好機として、スポーツで人々がつながる国民運動を展開し、オリンピックムーブメントやパラリンピックムーブメントを推進。本計画期間においては、「スポーツ参画人口」を拡大し、スポーツ界が他分野との連携・協働を進め、「一億総スポーツ社会」を実現する。

◆ 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

<政策目標>

ライフステージ¹に応じたスポーツ活動の推進とその環境整備を行う。その結果として、成人のスポーツ実施率について週1回以上が65%程度（障害者は40%程度）、週3回以上が30%程度（障害者は20%程度）となることを目指す。

- 1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実
- 2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現
- 3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備
- 4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

(2) 東京都の動き

東京都では、ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 大会の開催決定や、都民の障害者スポーツへの関心の高まりなど、都のスポーツを取り巻く環境は大きく変化し、新たな施策を効果的に展開していくため「東京都スポーツ推進計画」及び「東京都障害者スポーツ振興計画」を見直し、平成 30（2018）年にスポーツを通じ東京の未来を創造していくための羅針盤となるものとして「東京都スポーツ推進総合計画」を策定しました。

この新たな計画に基づく様々な取組を推進することで、「スポーツを通じた健康長寿の達成」「スポーツを通じた共生社会の実現」「スポーツを通じた地域・経済の活性化」の3つの政策目標を設定し、「スポーツ都市東京」の実現を目指しています。

【東京都スポーツ推進総合計画概要】

基本理念 「スポーツの力で東京の未来を創る」

都民のスポーツ実施率 70%を達成し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」を実現します。

◆3つの政策目標及び将来のイメージ

01 スポーツを通じた健康長寿の達成

都民の誰もが、気軽にスポーツに親しむことによって、心身の健康が維持・増進し、いきいきと生活しています。

02 スポーツを通じた共生社会の実現

障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、すべての人が分け隔てなくスポーツを楽しみ、互いを理解・尊重しながら共生しています。

03 スポーツを通じた地域・経済の活性化

都民が様々なスポーツを日常的に楽しむとともに、企業・地域団体等もスポーツの楽しさを実現できるサービス等を提供し、地域や経済が活性化しています。

◆「する・みる・支える」の3つの視点

スポーツには「する」だけでなく、「みる」「支える」といった関わり方があります。何らかの理由によりスポーツを「する」ことが困難であったり、苦手意識があったとしても「みる」「支える」ことによってスポーツに触れることで、楽しいと思ったり、爽快感を感じるといったことも少なくないはずです。スポーツの力は「する・みる・支える」のいずれかの関わり方であっても、広く及んでいくと考えられ、こうしたスポーツへの関わり方を3つの視点として捉え、スポーツ都市東京の実現に向けた施策を設定していきます。

◆30の政策指針

3つの政策目標の実現に向けては、「する・みる・支える」の3つの視点から課題を整理し、スポーツ施策を展開していくことが効果的です。そのため、政策目標実現に向けた施策展開の方向性を「する・みる・支える」の3つの視点から30の政策指針として整理し、具体的な取組を明らかにしていきます。

(3) 昭島市の動き

平成 28（2016）年度から令和 3（2021）年度までの 6 年を計画期間とした「スポーツ推進計画」において、「健やかな生活・豊かな生活」を基本に、市民の生活の質的向上や活力ある地域社会の実現を目指し、「より健やかに より豊かに ～スポーツで育む 元気都市 あきしま～」を実現できることを基本理念とし、2つの数値目標を掲げ、スポーツ振興に取り組んできました。

「昭島市スポーツ推進計画」における数値目標

- ① 成人（20 歳以上）の週 1 回以上のスポーツ実施率を 60%以上
- ② 週 1 回以上スポーツをしている成人のスポーツクラブ、サークル・団体への加入率を 40%以上

「第五次昭島市総合基本計画」（平成 23（2011）年度～令和 2（2020）年度）では、『「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）』に位置付け、市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツやレクリエーション²に親しみ、交流を深め、心身ともに健康で明るく豊かな生活を送れるよう、スポーツ協会をはじめ、各スポーツ団体、総合型地域スポーツクラブ³「昭島くじらスポーツクラブ」や自治会連合会等と連携を図る中で、様々な事業に取り組んできました。

¹ ライフステージ・・・人生における年代別段階。

² レクリエーション・・・精神や肉体の疲れを回復させるための活動や休養。広義には余暇時間に行われるスポーツ、芸術、娯楽など。

³ 総合型地域スポーツクラブ・・・地域の住民が主体的・自主的に組織し、運営するスポーツクラブ。多世代が多種目のスポーツを楽しむことができ、スポーツを通じた地域・世代間交流を推進する。

3 計画における「スポーツ」

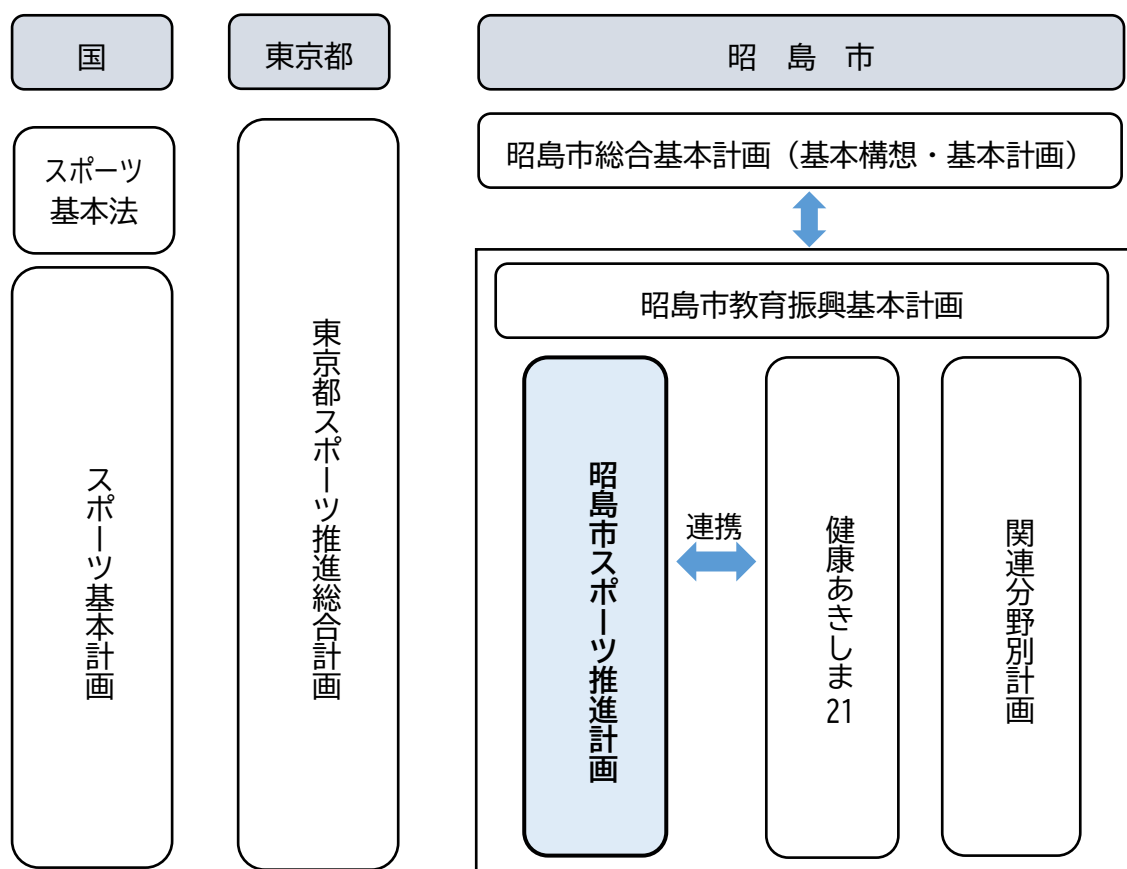
本計画では、スポーツをより身近なものとし、これまでスポーツへの関心がない人にも気軽に楽しんでいただくため、スポーツの概念を幅広く捉えています。

このため、ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけではなく、健康づくりのためのウォーキングや軽体操、ハイキング、介護予防のためのトレーニングなど、目的を持った身体活動のすべてをスポーツとして扱っています。

4 計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法第10条第1項に基づく「地方スポーツ推進計画」です。また、「昭島市総合基本計画」を上位計画とし、さらに「昭島市教育振興基本計画」の分野別計画で、本市におけるこれらの分野の施策を総合的、計画的に推進するための基本的指針となるものです。

本計画は、「昭島市総合基本計画」のスポーツの振興に関する方向性を基本とし、関係法令や「スポーツ基本計画」、「東京都スポーツ推進総合計画」を踏まえるとともに、本市の関連分野別計画との整合を図るものとします。



5 計画の期間

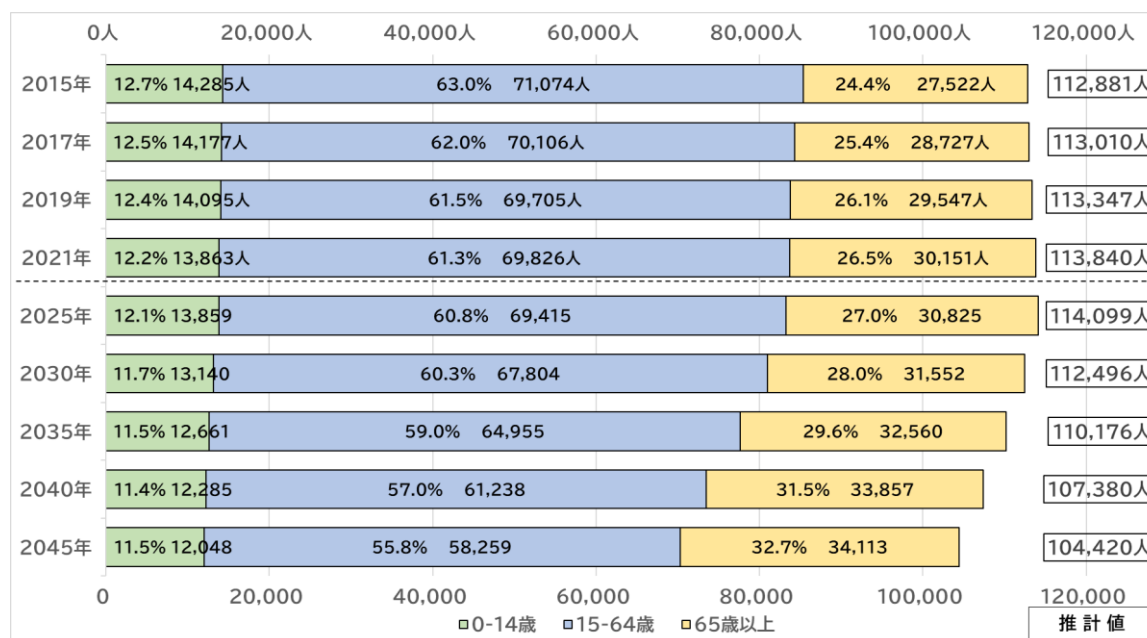
本計画の計画期間は、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間とし、計画期間中に社会情勢などの大きな変化がある場合には、適宜計画の見直しを行います。

6 社会状況の変化と課題

令和3（2021）年10月1日現在の本市の人口は113,840人です。年齢を年少人口、生産年齢人口、老年人口の3区分別にみると、0歳～14歳の年少人口は13,863人、15歳から64歳までの生産年齢人口は69,826人、65歳以上の老年人口は30,151人となっています。今後、すべての区分において人口が減少し、老年人口の割合が増加する見込みとなっています。

このような中、高齢者の健康増進に向けたスポーツ・レクリエーションへの重要性が高まっています。また、子どもの時から継続してスポーツを行っている人も多いことから、年少人口期におけるスポーツへの関心を高め、継続的にスポーツを実施する環境を整備していく必要があると考えられます。

年齢3区分別人口推移と推計



資料：平成27（2015）年～令和3（2021）年は各年10月1日現在での実数。
（住民基本台帳より）

2025年～2045年は推計値。出典「昭島市」

第2章 昭島市スポーツ推進計画の現況と課題

1 昭島市スポーツ推進計画の検証（平成 28（2016）年度～令和 3（2021）年度）

（1）進捗状況

平成 28（2016）年に策定した「スポーツ推進計画」において、4つの基本施策のもと、56の施策を展開してきました。

令和 3（2021）年 8 月末現在、施策の進捗状況について A～D の 4 段階で評価・検証した結果は、次のとおりです。

A 評価：計画期間中に終了又は終了見込みの施策	3 施策
B 評価：実施中であり、今後も継続する見込みの施策	36 施策
C 評価：次期計画においても引き続き検討が必要な施策	15 施策
D 評価：未実施であり、今後も実施の見込みが立たない施策	2 施策

基本 施策	施策項目 (大項目)	施策項目 (中項目)	具体的施策 (小項目)	検 証
1 誰もがスポーツに親しみ、 取り組むための支援の充実	1- (1) スポーツへの参 加機会の充実	スポーツを始める きっかけづくり	1 家族で楽しむスポーツ機会の提供	B
			2 市民がスポーツにふれる機会の提供	B
			3 初心者やスポーツをしていない人向けのスポーツ 相談・教室の開催	B
			4 初心者やスポーツをしていない人向けのスポーツ プログラムの提供	B
			5 家庭でできる軽体操等の普及	B
		働き盛り・子育て 世代がスポーツを する機会の充実	6 公共スポーツ施設等の利用促進	B
			7 子育て中の女性がスポーツしやすい環境づくりの検討	B
		障害のある人がス ポーツをする機会 の充実	8 障害の種類や程度に応じたスポーツ実施の支援	C
			9 障害のある人が安心したスポーツができる環境づくり の推進	C
	1- (2) 多様な健康・ス ポーツプログラ ムの提供	年代や体力に応じ た健康・スポーツ プログラムの充実	10 年代や体力等に応じた相談・指導、プログラムの充実	B
			11 健康寿命をのばす健康・スポーツプログラムの充実	B

基本 施策	施策項目 (大項目)	施策項目 (中項目)	具体的施策 (小項目)	検 証
1 誰もがスポーツに親しみ、取り組むための支援の充実	1- (3) スポーツがで きる施設の整 備・充実	公共スポーツ施設の充 実	12 公共スポーツ施設における設備の充実、施設改修の推進	B
			13 公共スポーツ施設へのアクセスの改善	B
			14 公共スポーツ施設におけるバリアフリー化等の推進	C
			15 公共スポーツ施設の円滑な管理・運営	C
		地域でスポーツがで きる場の充実	16 身近で気軽に利用できる地域スポーツ施設の提供	C
			17 市の公共施設等を活用した軽スポーツの場の提供	B
			18 民間スポーツ施設との連携	C
			19 国等の公共施設の活用の推進	B
		学校体育施設の整備・ 充実	20 地域スポーツ拠点としての整備・充実	B
	1- (4) スポーツに関 する情報の提 供・発信	健康づくり・スポーツ 実施に対する啓発	21 スポーツ推進計画の周知	B
			22 健康・スポーツの市民への啓発	B
		施設情報の提供	23 スポーツ施設の総合情報の収集・提供	C
			24 スポーツ施設予約における利便性の向上	B
		健康・スポーツプログ ラム情報の提供	25 スポーツ相談に関する情報の提供	B
			26 スポーツ教室・スポーツイベント等に関する情報の提供	B
		クラブ・団体情報の提供	27 スポーツに関するクラブ・団体等に関する情報の提供	C
2 競技スポーツを楽しむ環境づくり	2- (1) 競技スポーツ 大会の充実	競技スポーツ団体の活 性化	28 競技団体の広報活動の支援	B
			29 新たな競技団体の組織化の推進	B
		競技スポーツ大会の充 実	30 競技大会における種目等の充実	B
			31 新たなスポーツ大会の開催	C
	2- (2) 競技スポーツ 関係者・団体 の支援	競技スポーツ関係者・ 団体への支援	32 競技大会等への選手・役員派遣の支援・充実	B
			33 競技者、指導者、ボランティア等への表彰制度の充実	B
			34 トップアスリート ¹ の育成・支援	B
			35 競技スポーツ ² の研修会、交流会の開催支援	B
			36 競技者の健康管理や競技力向上を支援する人材との連携	B
	2- (3) スポーツを 「見る」人の 支援	東京オリンピック・パ ラリンピックへの支援	37 東京オリンピック・パラリンピック出場選手のキャン プ地の確保	A
			38 東京オリンピック・パラリンピックを観戦するための 支援	A
		身近なところで競技スポ ーツを見る機会の提供	39 競技大会の誘致	B

基本 施策	施策項目 (大項目)	施策項目 (中項目)	具体的施策 (小項目)	検 証
3 スポーツを支える人づくり	3- (1) スポーツのク ラブ・団体の 組織化・活性 化	地域スポーツ ³ の組織 化・活性化等の推進	40 地域のスポーツサークル・団体の組織化の推進	B
			41 地域のスポーツサークル・団体等の活性化の推進	B
	3- (2) 地域スポーツ を支える人材 の育成・確保	スポーツボランティア の育成・確保	42 地域スポーツボランティア ⁴ の育成・確保	C
			43 東京オリンピック・パラリンピックにおけるボランテ ィアの育成・確保	A
		地域スポーツ指導者の 育成・確保	44 地域スポーツ指導者の育成・確保	D
			45 スポーツ指導者の資格取得等の支援	C
			46 健康・スポーツプログラマー ⁵ の育成・確保	D
			47 スポーツ推進委員 ⁶ の確保・育成	B
4 スポーツを通じた地域の絆づくり	4- (1) スポーツによ る多様な人々 の交流支援	スポーツを通じた交流 の促進	48 地域スポーツ講習会・教室の開催	B
			49 地域の世代間交流を促すスポーツ大会の支援	B
			50 障害のある人となない人がともに楽しめるスポーツの推進	C
			51 トップアスリートによるスポーツ教室、交流イベント の開催	B
	4- (2) 地域と学校の 連携	学校運動部活動に対す る支援の充実	52 学校外の運動部活動指導者の導入と学校の受け入れ態 勢の推進	B
			53 公共スポーツ施設の運動部活動への開放の推進	C
	4- (3) 総合型地域ス ポーツクラブ の充実・支援	総合型地域スポーツク ラブの支援	54 総合型地域スポーツクラブ「昭島くじらスポーツクラ ブ」に関する情報提供	B
			55 地域スポーツコーディネーター ⁷ の育成・確保	C
			56 クラブマネージャー ⁸ の育成・確保	C

¹ トップアスリート・・・プロスポーツ選手やオリンピック出場選手など高度な競技力を有する競技者。

² 競技スポーツ・・・自らの能力と技術の限界に挑み、人間の可能性の極限を追求する側面を持つスポーツ。

³ 地域スポーツ・・・健康づくり、仲間とのコミュニケーション、スポーツを通じたさまざまな交流による地域の活性化や教育力の再生などを目的として、地域で行われるスポーツ。

⁴ 地域スポーツボランティア・・・地域のスポーツクラブなどを、報酬を目的とせず運営や指導を日常的に支え、競技大会や地域スポーツ大会等に能力・技能・労力を提供し運営等を支援する人。

⁵ スポーツプログラマー・・・主に地域において、各年齢層に応じて適切な運動・スポーツ活動ができるよう、相談及び指導・助言を行う人。プログラマーの資格認定制度がある。

-
- ⁶ スポーツ推進委員・・・スポーツ基本法第三十二条により規定された、教育委員会が委嘱する非常勤の職員。市町村におけるスポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整、住民に対するスポーツの実技の指導、スポーツに関する指導及び助言を行う。
- ⁷ スポーツを通じて、地域の交流を促進し、総合型地域スポーツクラブの育成、地域スポーツのサークル・団体等の組織化の支援を行う地域スポーツのリーダーの役割を果たす人。
- ⁸ クラブマネージャー・・・総合型地域スポーツクラブの経営管理者として、事業体であるクラブ全体の経営（マネジメント）を行う立場の人。



(2) 主な取組や課題

スポーツ推進計画は、平成 28（2016）年度から 6 年間の計画期間に、4 つの基本施策に基づき 12 の施策の方向性を定め、22 の施策、56 項目にわたる具体的施策を掲げ、本市のスポーツ推進の目標達成に向け取り組んできました。

これらの取組状況や課題について 4 つの基本施策に基づいて以下のとおり整理しました。

基本施策 1 誰もがスポーツに親しみ、取り組むための支援の充実

1 - (1) スポーツへの参加機会の充実

施 策	取 組 内 容 や 課 題
スポーツを始めるきっかけづくり	・ スポーツを始めるきっかけづくりとして、水泳、各種ダンス、クライミング等の子どもを対象とした教室を開催し、新たなスポーツや関心があるスポーツへ触れる機会を提供しました。 ・ 開催種目は、教室参加者へのアンケートを実施し、適宜修正等する中で、人気の教室については応募多数により参加出来ない人も多い状況となっています。 ・ 施設の状況により、参加意欲があるものの参加できない人への対応や、関心がない人に興味を持たせる取り組みや広報等が課題となっています。
働き盛り・子育て世帯がスポーツをする機会の充実	・ 働いている方が参加しやすいよう、夜間のヨガ教室や弓道教室などを開催しました。 ・ 子育て世代の方向けに、一時保育付きの事業を開催するなど、参加機会の拡充を図りました。 ・ 参加者は増加傾向にありますが、関心が低い人にも関心を持たせていくことが課題となっています。
障害のある人がスポーツをする機会の充実	・ スポーツ週間におけるボッチャ体験教室の開催、自治会ブロック別対抗スポーツ大会におけるインドアペタंक等を開催しました。 ・ インドアペタंक、ボッチャの用具については、貸し出しをし、障害者スポーツの普及に努めました。 ・ パラリンピックの開催を契機として、障害者スポーツへの理解と関心を高めることが課題となっています。 ・ 市内運動施設におけるユニバーサルデザイン¹化の推進も課題となっています。

1-（2）多様な健康・スポーツプログラムの提供

施 策	取 組 内 容 や 課 題
年代や体力に応じた健康・スポーツプログラムの充実	・「健康さわやか教室」「高齢者水中運動教室」等を開催しました。 ・多数の参加者希望があり、教室の拡充を求める声もありますが、施設も限られることから、参加できない人への対応や、関心がない人に関心を持たせていくことが課題となっています。

1-（3）スポーツができる施設の整備・充実

施 策	取 組 内 容 や 課 題
公共スポーツ施設の充実	・市民球場周辺におけるウッドチップ舗装をゴムチップ舗装へ改修しました。 ・屋内運動施設への熱中症対策として、大型冷風機を設置しました。 ・総合スポーツセンターは、東京都からの移管後、大規模な改修が行われておらず、老朽化が進行しています。 ・昭島市公共施設等総合管理計画における個別施設計画の策定に伴い、施設の長寿命化も含め利用者への利便性の向上についても検討しています。 ・他の施設においても維持管理等のあり方について、長期的な検討を行っていく必要があります。 ・管理・運営における指定管理者制度の導入等も視野に入れた検討を進めていく必要があります。
地域でスポーツができる場の充実	・アキシマエンス（教育福祉総合センター）内において、新たに運動スペースの利用が可能になっています。 ・法務省所管の体育施設は、地元住民に限り利用可能となっています。 ・新規公共施設建設時には、スポーツ利用可能な施設のあり方を検討する必要があります。

1-（4）スポーツに関する情報の提供・発信

施 策	取 組 内 容 や 課 題
施設情報の提供	・屋外運動施設における予約方法を公共施設予約システムへ移行しました。 ・各種教室等の事業について、市公式ホームページや広報を通じて周知に努めています。 ・市公式ホームページ、広報による周知のほか、施設内の掲示やツイッター等 SNS²（ソーシャルネットワークサービス）を通じた周知など、時代に即した手法の取り組みも検討する必要があります。

¹ ユニバーサルデザイン・・・バリアフリーは、障害によりもたらされるバリア（障壁）に対処するとの考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。

² SNS・・・SNS（エス・エヌ・エス）とは、Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略。Web上で社会的なネットワークを作り出せるサービスを意味します。

基本施策2 競技スポーツを楽しむ環境づくり

2-（1）競技スポーツ大会の充実

施 策	取 組 内 容 や 課 題
競技スポーツ大会の充実	・スポーツ協会への加盟団体の増加に伴い、市民体育大会の競技種目、各種大会への選手派遣等を追加し実施しています。 ・新競技の大会については、関係団体と協議・検討し、実施に向けた検討を行っていく必要があります。

2-（2）競技スポーツ関係者・団体の支援

施 策	取 組 内 容 や 課 題
競技スポーツ関係者・団体への支援	・都民体育大会、市町村総合体育大会等への選手・役員派遣を実施しました。 ・トップアスリートを招聘したスポーツ力向上事業等を実施しました。

2-（3）スポーツを「見る」人の支援

施 策	取 組 内 容 や 課 題
東京オリンピック・パラリンピックへの支援	・出場選手のキャンプ地確保のための誘致も実施しましたが、施設規模等で要件を満たすことが難しくキャンプ地確保の実現には至りませんでした。 ・観戦に関しては、イベントでのチケット配布を検討しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イベントが開催できませんでした。
身近なところで競技スポーツを見る機会の提供	・市内に民間のラグビークラブチームの練習場が設置されたことから、子どもラグビー体験教室やラグビーワールドカップのパブリックビューイングを開催しました。今後も官民での連携を強化しながら試合観戦や観戦ツアー等の開催を検討します。

基本施策3 スポーツを支える人づくり

3-（1）スポーツのクラブ・団体の組織化・活性化

施 策	取 組 内 容 や 課 題
地域スポーツの組織化・活性化等の推進	・ 昭島市スポーツ協会の一般社団法人化に伴い、協会の自立支援のための自主財源の確保に繋がるよう、市の事業の委託等も含めた協議・検討が必要です。

3-（2）地域スポーツを支える人材の育成・確保

施 策	取 組 内 容 や 課 題
スポーツボランティアの育成・確保	・ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の開催にあたって、一般公募、スポーツ推進委員、昭島市スポーツ協会並びに市内高等学校生徒から多くの方がボランティアへの参加申込をされました。 ・ オリンピックのような大規模な大会においては、多くのボランティアへの参加があったことから、今後、市の事業においてもスポーツボランティアの導入についての検討が必要です。
地域スポーツ指導者の育成・確保	・ 小学校区を中心に 18 名のスポーツ推進委員を委嘱しています。 ・ 全小学校区に 1 名のスポーツ推進委員の配置が理想であることから、認知度を高める工夫が必要です。

基本施策4 スポーツを通じた地域の絆づくり

4-（1）スポーツによる多様な人々の交流支援

施 策	取 組 内 容 や 課 題
スポーツを通じた交流の促進	・ 自治会連合会を通じ、自治会対抗ブロック別大会を開催しました。 ・ パラリンピックの開催を契機に正式種目となったボッチャの体験会等を開催しました。 ・ ボッチャ競技は、多摩地域で包括的な大会等の開催も予定され、継続した開催の検討が必要です。

4-（2）地域と学校との連携

施 策	取 組 内 容 や 課 題
学校運動部活動に対する支援の充実	・ 学校からの部活動支援の問い合わせには、該当する種目について昭島市スポーツ協会と連携し取り組みました。

4-（3）総合型地域スポーツクラブの充実・支援

施 策	取 組 内 容 や 課 題
総合型地域スポーツクラブ の支援	・ 設立から 10 年を迎え、市補助等のあり方について協議し、継続した活動に向けた自主財源の更なる確保の検討が必要です。



(3) 数値目標の達成状況

「スポーツ推進計画」では、数値目標を定めており、令和3（2021）年度に実施した「昭島市の市民スポーツに関するアンケート調査」の結果などにより検証した結果、下記のとおりとなっています。

○ 成人（20歳以上）の週1回以上のスポーツ実施率

スポーツ推進計画の目標	⇒	達成状況
60%		53.2%

※令和3（2021）年度「昭島市の市民スポーツに関するアンケート調査」結果

スポーツ振興計画の目標	⇒	達成状況
50%		52.3%

※平成27（2015）年度「昭島市の市民スポーツに関するアンケート調査」結果

○ 週1回以上スポーツをしている成人のスポーツクラブ、サークル・団体への加入率

スポーツ推進計画の目標	⇒	達成状況
40%		16.0%

※令和3（2021）年度「昭島市の市民スポーツに関するアンケート調査」結果

スポーツ振興計画の目標	⇒	達成状況
20%		34.2%

※平成27（2015）年度「昭島市の市民スポーツに関するアンケート調査」結果

数値目標の達成状況について、成人（20 歳以上）の週 1 回以上のスポーツ実施率は、前回調査から若干増加しています。一方で、週 1 回以上スポーツをしている成人のスポーツクラブ、サークル・団体への加入率については、前回調査の半分まで減少しています。

コロナ禍における調査ということもあり、新しい生活様式の中、個人でできるウォーキングやジョギングなどを実施した人が増えたと考えられます。また、アンケート調査においても、ウォーキングが 57.4pt から 67.0pt に、ジョギングが 12.5pt から 14.4pt と、それぞれ増加しています。一方で、団体競技であるサッカーやソフトボール、バスケットボール、バレーボールなどは、いずれも減少しており、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、活動の場等における制限や、スポーツクラブ、サークル・団体等での活動の制限があったことが要因の一つではないかと考えられます。

【アンケート調査抜粋】

種 目	平成 27 年	令和 3 年
ウォーキング	57.4pt	67.0pt
ジョギング	12.5pt	14.4pt
サッカー・フットサル	6.1pt	2.8pt
ソフトボール	3.5pt	0.4pt
バスケットボール	6.4pt	1.8pt
バレーボール	5.1pt	1.8pt





第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

「昭島市総合基本計画」（令和4（2022）年度～令和13（2031）年度）では、「水と緑が育む ふるさと昭島 ～多様性と意外性のある楽しいまちを目指して～」を将来都市像に掲げています。

本計画の基本理念は、前期計画を踏まえ、市の将来都市像を実現するために、「誰でも より楽しく ～スポーツで繋がる 楽しいあきしま～」を目指すとしています。

また、今後も想定される新しい生活様式の中において、安全・安心なスポーツ・レクリエーション環境の構築に向け取組を推進します。

誰でも より楽しく
～ スポーツで繋がる 楽しいあきしま ～

2 数値目標

本計画では、市民の誰もがスポーツを楽しみ、繋がることによって「誰でも より楽しく ～スポーツで繋がる 楽しいあきしま～」を実現できることを基本理念とし、計画期間中に

- ① 成人（20歳以上）の週1回以上のスポーツ実施率を 60%以上
- ② 週1回以上スポーツをしている成人のスポーツクラブ、サークル・団体への加入率を 40%以上

とすることを目標として、施策を展開していきます。

① 成人（20歳以上）の週1回以上の
スポーツ実施率

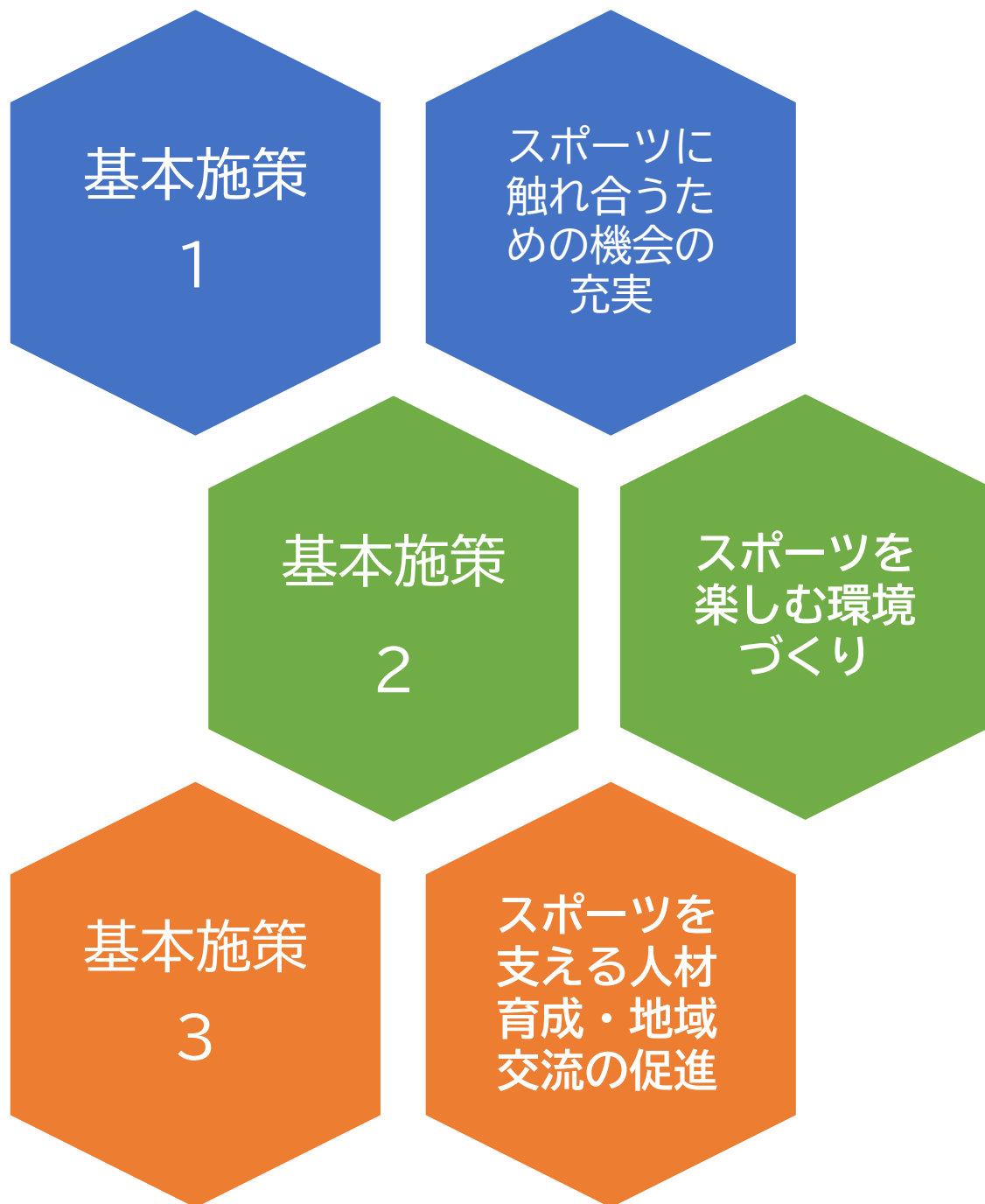
60%以上

② 週1回以上スポーツをしている成人の
スポーツクラブ、サークル・団体への加入率

40%以上

3 施策体系

前計画の施策体系を踏襲し、次の3つの基本施策を定めるとともに、12の施策の方向性、19の施策を推進していきます。



4 SDGsとの関連

SDGs（エスディージーズ）とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、平成 27（2015）年 9 月の国連サミットにおいて全会一致で採択されたもので、国連加盟 193 か国が平成 28（2016）年から令和 12（2030）年の 15 年間で達成するために掲げた目標です。SDGs は 17 の大きな目標と、それらを達成するための具体的な 169 のターゲットで構成されています。

本計画においては、17 の目標のうち、目標 3「すべての人に健康と福祉を」及び目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」を目標に掲げ、取り組んでいきます。



基本施策１ スポーツに触れ合うための機会の充実

スポーツに触れていない人の関心を高めるとともに、スポーツに触れている人には、継続した実施を支援し、生涯にわたりスポーツに触れ合うための機会の充実に努めます。

（１）スポーツへの参加機会の充実

「スポーツを始めるきっかけづくり」・・・①

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の開催により、普段スポーツと関わりが少ない人の関心が高まっている状況の中で、パラスポーツ等に触れる機会を提供するとともに、子どもや初心者向けのニュースポーツ等の教室や体験会の開催に向け、スポーツ推進委員やスポーツ教室受託業者と協議し、検討を進めていきます。

「働き盛り・子育て世代がスポーツをする機会の充実」・・・②

働いている方でも気軽に参加ができるよう、夜間帯の教室や体験会の開催について検討を進めます。

また、子育て中の女性が気軽にスポーツを楽しみ、運動不足やストレスの解消となるよう、プログラムの内容や一時保育の充実を図ります。

「障害のある人がスポーツをする機会の充実」・・・③

障害のある人となない人が、スポーツを通して交流を図る機会の充実に努めます。

また、障害のある人も安心してスポーツを実施できるよう、公共スポーツ施設におけるユニバーサルデザインの導入を推進します。

（２）多様な健康・スポーツプログラムの提供

「年代や体力に応じたスポーツプログラムの充実」・・・④

年代や体力に応じた様々な健康・スポーツプログラムの充実に努めます。

また、保健・福祉・医療・介護等の庁内関係部署及び関係機関と連携を図り、健康・スポーツ相談等の結果を通して、健康・スポーツプログラムの情報提供に努めます。

(3) スポーツができる施設の整備・充実

「公共スポーツ施設の充実」・・・⑤

昭島市公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化に伴う施設及び設備の長寿命化に向けた改修等を進め、スポーツ施設の充実を図ります。

屋外運動施設については、一部地域に集中していることから、他地域における屋外運動施設のあり方について検討します。

また、高齢者や障害のある人の利用に配慮し、公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化等を推進します。

今後、公共スポーツ施設の管理運営のあり方について、指定管理者制度やPFIなどの管理運営方法の導入について検討します。

「地域でスポーツができる場の充実」・・・⑥

市の公共施設及び民間スポーツ施設との連携、国等の公共施設を活用し、気軽にスポーツ・レクリエーションができる場の充実に努めます。

「学校体育施設の整備・充実」・・・⑦

身近で使いやすい地域スポーツの拠点として、学校体育施設の整備・充実を図るとともに、夜間照明設備の整備について、校庭利用の状況等を勘案し改修や新設等について検討します。

(4) スポーツに関する情報の提供・発信

「健康づくり・スポーツ実施に対する啓発」・・・⑧

市のホームページ等を通じ、スポーツ推進計画の理解と周知啓発に努めます。

また、健康増進、体力の維持向上、ストレス解消など、スポーツと心身の健康づくりの有効性を周知し、スポーツへの取り組みを推進します。

「健康・スポーツプログラム情報の提供」・・・⑨

市のホームページやSNSなど、あらゆる媒体を活用し、スポーツプログラムやスポーツ教室、スポーツイベント等の情報を提供し、スポーツ実施率の向上を図ります。

（５）新しい生活様式でのスポーツの推進

「新しい生活様式での健康づくり」・・・⑩

コロナ禍において、健康を維持するためにもスポーツ・レクリエーション活動は重要です。

このような状況の中でも屋内・屋外を問わず、安全・安心にスポーツ・レクリエーション活動を行える環境の提供について取組を進めます。

基本施策２ スポーツを楽しむ環境づくり

競技スポーツを「する」ことや「みる」ことを通して、スポーツを楽しむ環境づくりを進めます。

（１）競技スポーツ大会の充実

「競技スポーツ団体の活性化」・・・⑪

スポーツ協会等への加盟促進等を図り、新たな競技スポーツ団体の組織化を推進します。

「競技スポーツ大会の充実」・・・⑫

市民体育大会や新春駅伝競走大会等の既存の競技大会の充実を図るとともに、障害者も参加できる競技スポーツ大会の企画・開催を検討します。

（２）競技スポーツ関係者・団体の支援

「競技スポーツ関係者・団体への支援」・・・⑬

上部組織が開催する競技スポーツ大会への選手・役員派遣の支援の充実を図ります。

国内外で活躍するトップアスリートの育成に向け、競技力向上に向けた環境整備を支援します。

基本施策3 スポーツを支える人材育成・地域交流の促進

市民が継続的にスポーツに取り組むことができるよう、地域スポーツクラブやサークルなど、団体の組織化・活性化を図り、世代や障害の有無にかかわらず、多様な市民の交流の場を促進します。

(1) スポーツサークル・団体の組織化・活性化

「地域のスポーツサークル・団体の組織化・活性化の推進」・・・⑭

地域にある多様なスポーツサークル・団体の組織化を支援します。

また、サークルや団体が継続的に活動できるよう支援するとともに活性化を図ります。

(2) 地域スポーツを支える人材の育成・確保

「スポーツボランティアの育成・確保」・・・⑮

スポーツイベントを支援するスポーツボランティアを導入し、その育成・確保に努めるとともに、スポーツボランティアの活動を支援します。

「地域スポーツ指導者の育成・確保」・・・⑯

障害のある人が安心して参加できるよう、障害者スポーツの指導者の発掘・育成・確保に努めます。

スポーツや健康づくりに関する相談やアドバイスが受けられるよう、スポーツプログラマーやスポーツ推進委員など、地域スポーツ推進の担い手となる人材の育成・確保に努め、その充実を図ります。

(3) スポーツによる多様な人々の交流支援

「スポーツによる多様な人々の交流支援」・・・⑰

地域住民が主体となって企画・実施する地域スポーツ講習会や教室の開催を支援します。

パラリンピックの開催に伴い機運の高まったパラスポーツの普及啓発を推進し、障害のある人となない人が共にスポーツを楽しみ、交流できる機会を提供します。

また、トップアスリートとの交流等を通じて、スポーツへの関心を高めます。

（４）地域と学校の連携

「学校運動部活動に対する支援の充実」・・・⑱

学校の運動部活動への外部指導者導入に向けた受け入れ態勢を推進します。

また、公共スポーツ施設等を部活動の場に開放するなど、学校運動部活動を支援します。

（５）総合型地域スポーツクラブの支援

「総合型地域スポーツクラブの支援」・・・⑲

昭島くじらスポーツクラブの活動に関する情報を広く提供し、更なる加入促進を図ります。



第4章 計画の推進

1 関係機関との連携による計画の推進

地域、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、スポーツ協会、学校、行政が相互連携・協働に努める中で、スポーツ推進計画の着実な推進を図ります。

(1) 地 域

自治会や地域住民を主体としたサロン活動等にスポーツの要素を取り入れ、市民が気軽にスポーツに親しむきっかけをつくります。

(2) 総合型地域スポーツクラブ

地域住民が主体となった運営を基本とし、自分の興味や関心、競技レベルに応じてさまざまなスポーツにふれる機会を提供します。

(3) スポーツ推進委員

本市におけるスポーツ推進に向けた事業実施に際し、連絡調整並びに市民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行います。

(4) 昭島市スポーツ協会

行政と加盟団体の連携・協働により、スポーツの環境づくりに向けた幅広い活動を展開します。加盟団体の活動の充実と競技力の向上、市民の健康づくり・体力づくり・仲間づくりの推進、子ども・若者の健全育成等を行います。

(5) 学 校

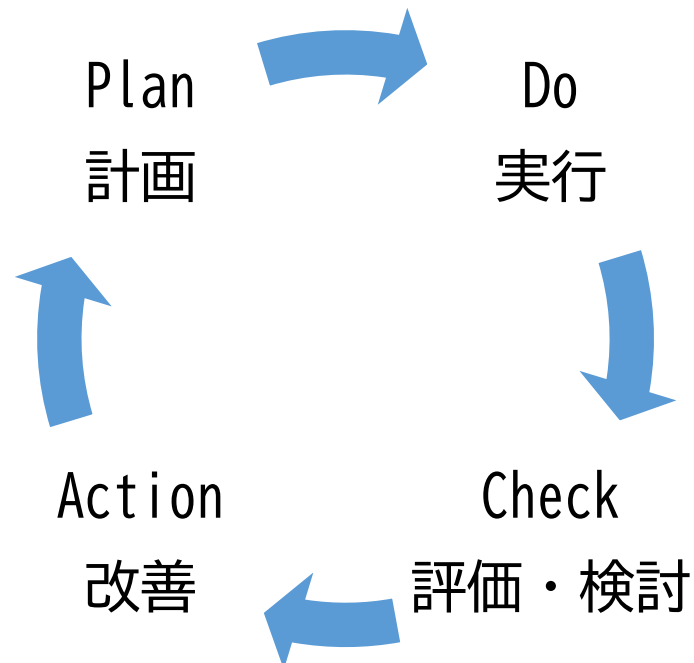
外部の指導者等との連携を図りながら運動部活動を進め、子どもたちのスポーツ実施を支援します。また、市民に最も身近な地域スポーツ拠点として学校体育施設の活用を図ります。

(6) 行 政

スポーツ推進担当部署を中心に、健康・スポーツ等の関連部署が施策との連携・調整を図り、スポーツ推進計画の進行管理、調査などを行います。また、民間のノウハウを活用しながら、公共スポーツ施設の管理・運営を行います。

2 PDCAサイクルによる計画の進行管理

本計画の着実な推進を図るため、PDCA¹（Plan＝計画を立てる、Do＝実行する、Check＝評価・検討する、Action＝改善策を講じる）サイクルに基づいて計画の進行管理を行います。市全体で行う事務事業評価や、教育委員会が行う事務事業に関する点検及び評価のしくみを活用しながら、進捗状況を毎年度評価し、計画期間の最終年度（令和8（2026）年度）には数値目標の達成状況について検証を行います。



¹ PDCA・・・品質改善や業務改善活動などで広く活用されているマネジメント手法の一つ。「計画(Plan)」、「実行(Do)」、「評価・検討(Check)」、「改善(Action)」のプロセスを順に実施していくもの。

資料

1 昭島市スポーツ推進計画策定委員会要綱

(設置)

第1条 昭島市スポーツ推進計画（以下「推進計画」という。）の策定をするため、昭島市スポーツ推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 市民の健康・体力づくりの現状の把握及び推進に関すること。
- (2) 市民のスポーツの拠点となる体育施設のあり方と整備に関すること。
- (3) その他推進計画に関して必要な事項。

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

- (1) 学識経験のある者 3人以内
- (2) 各種団体の代表者 5人以内
- (3) 公募による市民 2人以内

(任期)

第4条 委員の任期は、推進計画の策定が終了する日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を1人置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の内から互選により定める。
- 3 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

- 2 委員長は、委員会の議長となる。
- 3 委員会の会議は、委員の半数以上の出席により成立し、会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(意見聴取等)

第7条 委員会は、必要があると認められるときは、委員以外のものを会議に出席させ、その意見を聴取し、又は委員以外の者から資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、生涯学習部スポーツ振興課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか委員会の運営について必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年6月1日から実施する。

2 昭島市スポーツ推進計画策定委員会 委員名簿

	氏 名	所 属	区 分
1	◎ 野 口 敏 朗	東京女子体育大学	学識経験
2	佐 藤 理 恵	東京女子体育大学	学識経験
3	榎 本 至	鎌倉女子大学	学識経験
4	山 下 久 也	昭島市公立中学校長会 (瑞雲中学校校長)	各種団体
5	牧 義 明	昭島市スポーツ推進委員 副会長	各種団体
6	○ 石 原 正 昭	昭島市スポーツ協会 会長	各種団体
7	中 島 岩 雄	昭島市自治会連合会 会長	各種団体
8	新 井 克 己	昭島くじらスポーツクラブ 会長	各種団体
9	長 谷 川 恵 二		市民公募
10	安 藝 進		市民公募

◎委員長、○副委員長



3 検討経過

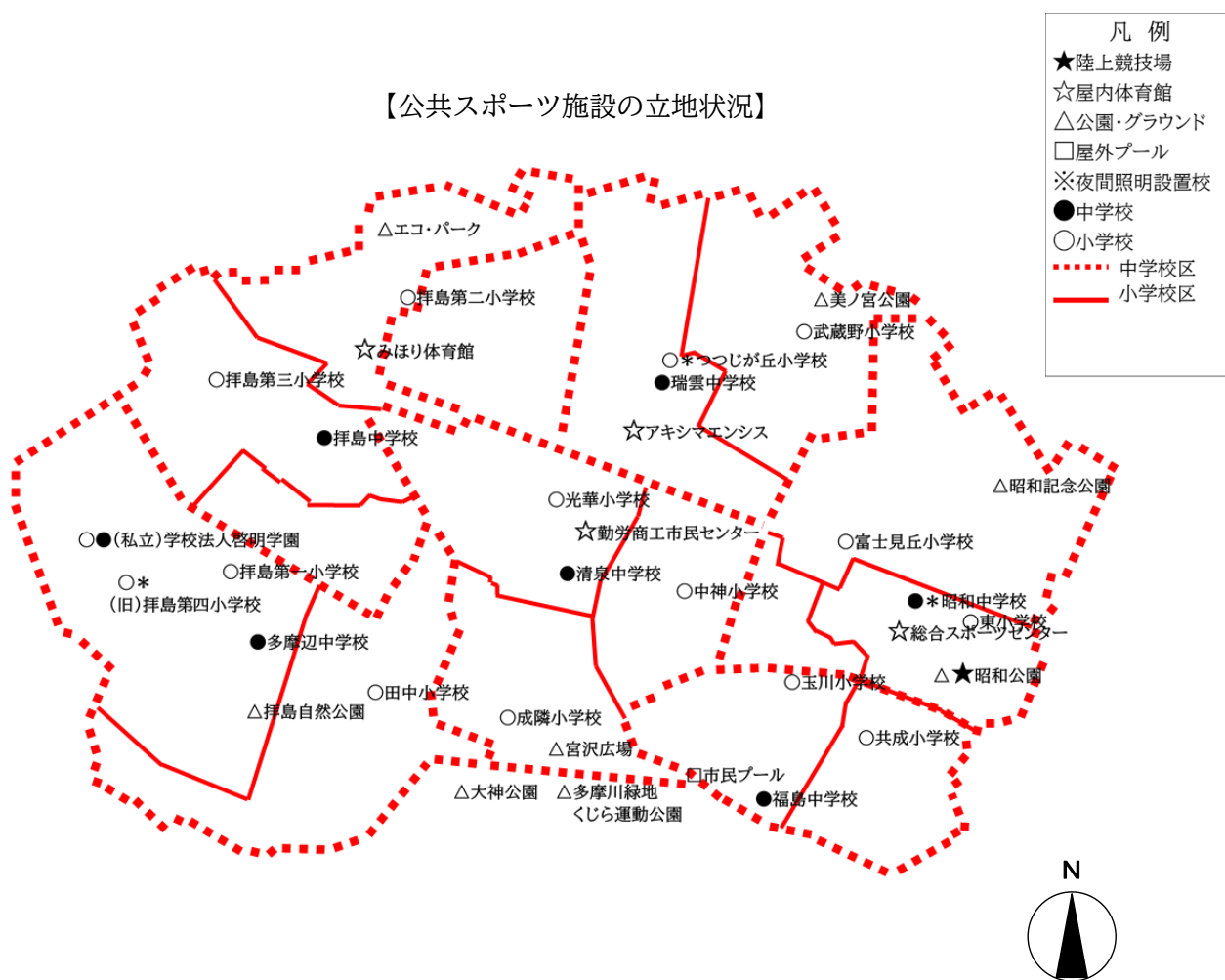
委員会開催日程		議 題
第1回	令和3年 7月12日（月） （書面開催）	（1）検討の進め方について （2）スポーツ振興の施策動向 （3）昭島市のスポーツ環境の現況 （4）「昭島市の市民スポーツに関するアンケート調査」 の実施について
第2回	10月15日（金）	（1）検討の進め方について （2）スポーツ振興の施策動向 （3）昭島市のスポーツ環境の現況 （4）「昭島市の市民スポーツに関する アンケート調査」の実施について
第3回	11月15日（月）	（1）「昭島市スポーツ推進計画」（素案）について （2）「パブリックコメント」の実施について
第4回	令和4年 2月10日（木） （書面開催）	（1）パブリックコメントの結果について （2）パブリックコメントへの回答について

第1回委員会、第4回委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面にて開催



4 公共スポーツ・レクリエーション施設

本市における公共スポーツ・レクリエーション施設は、下図のとおりとなっています。総合スポーツセンター（旧：東京都立多摩スポーツ会館）は平成16（2004）年に東京都から昭島市に移管され、市民のスポーツ実施拠点施設として活用されています。しかしながら施設の老朽化は進行しているため令和2（2020）年度に策定された「昭島市公共施設個別施設計画」の中において長寿命化を図り施設の大規模修繕等も予定されています。



○総合スポーツセンター

所 在 地：昭島市東町五丁目 13 番 1 号

延床面積：8,647.3 m²

施 設 名	規 模	内 容
第一体育室	816 m ²	バレーボール2面、フットサル1面 バスケットボール1面、 バドミントン6面、卓球20台 等
第二体育室	406 m ²	バレーボール1面、バドミントン1面、 卓球10台、スポーツクライミングウォール
柔道場	202 m ²	正式試合可能 98 畳
剣道場	202 m ²	正式試合可能
弓道場	260 m ²	和弓7人立 的距離28m（近的）
屋内温水プール	802 m ²	水温 29℃程度、室温 30℃～32℃ 6 コース 水深 1.2m～1.4m
トレーニングルーム	372 m ²	トレーニング機器、各種マッサージ機器、 屋外ランニング走路1週250m
研修室	77 m ²	会議・研修等 定員：50人
第一軽体操室	183 m ²	壁面：鏡、バー
第二軽体操室	153 m ²	壁面：鏡、バー

○みほり体育館

所 在 地：昭島市美堀町四丁目 20 番 1 号

延床面積：747.6 m²

施 設 名	規 模	内 容
体育室	420 m ²	バレーボール1面、バドミントン2面、 バスケットボール（練習用）1面、 卓球6台
研修室	66 m ²	会議・研修等 定員：33人 各種軽体操等
ホール	71 m ²	エアロバイク2台、自動血圧測定器1台、 体脂肪測定器1台

○アキシマエンス

所在地：昭島市つつじが丘三丁目3番15号

延床面積：11,634.94 m²

施設名	規模	内容
体育館	556 m ²	ミニバスケットボール1面（練習用）、バドミントン1面、バレーボール1面、卓球5台 等

○昭島市民球場

所在地：昭島市東町五丁目12番

敷地面積：16,406 m²

収容人数：5,312人

○昭和公園陸上競技場

所在地：昭島市東町五丁目2番

敷地面積：23,873 m²

施設概要：トラック（クレー400m）、インフィールド（人工芝 101m×71m）

○昭和公園テニスコート

所在地：昭島市東町五丁目11番

敷地面積：5,875 m²

施設概要：クレーコート5面、オムニコート2面

○大神公園

所在地：昭島市大神町四丁目24番

敷地面積：44,703 m²

施設概要：サッカー場1面、野球場4面

○多摩川緑地くじら運動公園

所在地：昭島市宮沢町三丁目17番

敷地面積：103,025 m²

施設概要：少年サッカー場（雑草広場）2面、ソフトボール場4面、
テニスコート（クレー）5面、少年野球場4面

○美ノ宮公園

所 在 地：昭島市武蔵野二丁目 4 番

敷地面積：7,200 m²

施設概要：ソフトボール場 1 面

○市民プール

所 在 地：昭島市宮沢町三丁目 16 番 1 号

敷地面積：5,197 m²

施設概要：流水プール、25mプール、幼児プール、児童プール、ウォータースライダー

○校庭夜間照明設備

施 設 名	施 設 概 要
昭和中学校	校庭 1 面、テニスコート（クレー） 7 面
つつじが丘小学校	校庭 1 面
旧）拝島第四小学校	校庭 1 面



5 一般社団法人 昭島市スポーツ協会加盟団体と会員数

	団体名	会員数			団体数
		男性	女性	計	
1	野球協会	1,255	5	1,260	65
2	サッカー協会	1,137	57	1,194	31
3	ソフトボール協会	403	32	435	25
4	テニス協会	156	114	270	9
5	バレーボール協会	87	156	243	17
6	剣道協会	165	73	238	13
7	バスケットボール協会	150	75	225	20
8	卓球協会	119	87	206	13
9	バドミントン協会	105	101	206	1
10	ビーチボール協会	63	116	179	23
11	ゴルフ協会	136	34	170	1
12	ソフトテニス協会	80	46	126	5
13	ダンススポーツ連盟	55	67	122	5
14	グラウンド・ゴルフ協会	33	46	79	1
15	武術太極拳協会	12	53	65	6
16	空手道協会	53	7	60	3
17	弓道協会	27	31	58	1
18	ターゲット・バードゴルフ協会	27	23	50	1
19	インディアカ協会	15	31	46	4
20	スポーツ少年団本部	32	7	39	2
21	クレ射撃協会	35	2	37	1
22	陸上競技協会	26	2	28	1
23	水泳協会	8	20	28	3
合計		4,179	1,185	5,364	251

令和3（2021）年4月1日現在

6 「昭島市の市民スポーツに関するアンケート調査」結果

6-1 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和3年度に「昭島市第2次スポーツ推進計画」を策定するにあたって、市民のスポーツ活動に関する現状や意見・要望を把握することを目的に実施しました。

(2) 調査の実施概要

調査は、市内に居住する満16歳以上の市民から無作為で選ばせていただいた方（以下、「一般調査」という。）及び、市内の中学校に通う生徒（以下、「中学生調査」という。）を対象に実施しました。

各調査の対象者、方法、回収結果等は次のとおりです。

①一般調査（昭島市民のスポーツに関するアンケート）

区 分	昭島市民のスポーツに関するアンケート
対象者数（人）	700
抽 出 方 法	市内に居住する満16歳以上の市民（無作為抽出）
調 査 方 法	郵送による配付、回収
調 査 時 期	令和3年8月
返 送 数（通）	286（無効票1票）
回 収 率（％）	40.9（無効票を含む）

②中学生調査（昭島市の中学生のスポーツに関するアンケート）

区 分	昭島市の中学生のスポーツに関するアンケート
対象者数（人）	289
抽 出 方 法	市内の中学校に通う生徒
調 査 方 法	各学校へ直接配布・回収
調 査 時 期	令和3年8月
返 送 数（通）	289
回 収 率（％）	100.0

6-2 調査結果の概要

市民のスポーツ活動に関する現状や意見・要望を把握することを目的に実施したアンケート調査について、結果の概要を以下に整理します。

6-2-1 一般調査結果

(1) スポーツの実施状況について

アンケート調査の結果、82.8%の人が、この1年間で何らかのスポーツを行ったと回答していますが、14.7%の人が「スポーツや運動はしなかった」と回答しています。

この1年間で何らかのスポーツを行った人の64.0%は、「週1日以上（「週に3日以上（年に151日以上）」と「週に1～2日（年に51～150日）」の合計。以下、同じ。）」の頻度でスポーツをしているものの、前回調査と比較して3.0ポイント少なくなっています。

また、スポーツ実施率（全ての回答者を対象とした「週1日以上」スポーツをした人の割合）は53.0%と、前回調査と比較して2.4ポイント少なくなっていますが、20歳以上に限ると、53.2%と前回調査と比較して0.9ポイント多くなっており、年代別に見ると、「70歳以上」で84.8%と最も多くなっており、次いで「60～69歳」で60.3%となっています。なお、「スポーツや運動はしなかった」人は14.7%で前回調査と比較して2.6ポイント少なくなっています。

スポーツを行った目的では、「運動不足の解消」や「健康維持・体力の増進」、「日常のストレス解消や気晴らし」が主な目的となっていますが、スポーツを行わなかった理由では、「仕事（家事・育児）が忙しく時間がないから」や「スポーツをする機会がないから」、「スポーツをすることが好きでないから」、「特に理由はない」が主な理由となっています。

しかし、この1年間で何らかのスポーツを行ったと回答した人より多い87.0%の人が、今後、何らかのスポーツをしてみたい又は続けたいと回答しています。

(2) スポーツクラブについて

スポーツのクラブ・同好会の加入状況は15.4%となっていますが、前回調査より8.0ポイント少なくなっており、「週1日以上」の頻度でスポーツをしている人に限って見ても21.9%と、前回調査より16.3ポイント少なくなっており、年代別でも20歳未満、20歳以上のいずれも前回調査より少なくなっています。

なお、加入した動機では、「スポーツを継続的に行うことができるから」や「友人や仲間と交流することができるから」、「健康の維持や体力の増進に役立つから」が主な理由となっています。

また、スポーツのクラブ・同好会に「加入していない」人に、加入の是非について訊いたところ、46.4%の人は「加入したいとは思わない」と回答していますが、34.2%の人は「加

入意向あり（「加入したい」と「活動時間、会費などの条件によっては加入したい」の合計。以下、同じ。）」と回答しています。

なお、「加入意向あり」の人は、女性では 33.3%と男性より 14.7 ポイント多くなっており、年代別では「60～69 歳」で 41.3%、「30～39 歳」で 41.2%、「40～49 歳」で 37.3% となっていますが、「70 歳以上」は 20.8%と最も少なくなっています。

また、総合型地域スポーツクラブ（昭島くじらスポーツクラブ）の認知度「知っている（「利用したことがある」「知っているが利用したことはない」の合計。以下、同じ。）」は、25.2%と前回調査より 4.7 ポイント多くなっています。

（３）スポーツ観戦について

この１年間のスポーツ観戦の方法は、「テレビ」が 86.7%と最も多く、次いで「インターネット配信」が 20.7%、「現地観戦」が 8.1%となっており、「観戦しなかった」と回答した人は 9.5%となっています。

男女ともに「テレビ」での観戦が約 9 割となっていますが、「インターネット配信」で観戦した人は男性が 33.1%と女性より 22.6 ポイント多くなっています。

また、どの年代でも「テレビ」での観戦が 8 割以上となっていますが「70 歳以上」と「50～59 歳」では 9 割を超えています。

なお、「16～19 歳」及び「40～49 歳」、「30～39 歳」では、「観戦しなかった」と回答した人が 1 割以上となっています。

「現地観戦」したスポーツは、「野球」、「サッカー、フットサル」、「マラソン、駅伝」の順に多くなっていますが、「ＴＶ・ラジオ等（インターネット含む）」で観戦したスポーツでは、「野球」「サッカー、フットサル」に次いで「卓球」となっています。

また、スポーツを観戦した日数は、「現地観戦」では「週に 3 日以上(年に 151 日以上)」が 26.1%となっていますが、「ＴＶ・ラジオ等（インターネット含む）」での観戦では、11.9%と 14.2 ポイント少なくなっています。

（４）スポーツ支援活動について

スポーツ支援活動について「参加経験がある（「地域のスポーツ活動などの運営や支援（クラブ、スポーツ団体等の活動）」及び「スポーツイベントのボランティア（スポーツ大会などの不定期的な活動）」、「子どものスポーツや運動の部活動やクラブ等の運営や支援」のいずれかを選択した人の合計。以下、同じ。）」人は 22.1%にとどまっており、前回調査※より 1.9 ポイント少なくなっています。

※前回調査の値は、100%から「参加経験はない」及び「わからない」、「無回答」、「その他」の回答割合の合計を除いて算出。

スポーツ支援活動への参加経験がない人では、スポーツ支援活動に「関心のある活動がある（「地域のスポーツ活動などの運営や支援（クラブ、スポーツ団体等の活動）」及び「ス

ポーツイベントのボランティア（スポーツ大会などの不定期的な活動）」、「子どものスポーツや運動の部活動やクラブ等の運営や支援」のいずれかを選択した人の合計。以下、同じ。）」人は27.5%となっており、前回調査※より2.1ポイント多くなっています。

※前回調査の値は、100%から「スポーツを支える活動に関心はない」及び「わからない」、「無回答」、「その他」の回答割合の合計を除いて算出。

なお、「スポーツを支える活動に関心はない」と回答した人は37.4%で前回調査より6.1ポイント多くなっていますが、「わからない」と回答した人は34.6%で前回調査より4.1ポイント少なくなっています。

（５）障害者スポーツについて

認知度が高い障害者スポーツは、「車椅子バスケットボール」が83.9%、「車いすテニス」及び「パラリンピック」がともに79.6%などとなっており、いずれも前回調査より認知度が多くなっています。

その他の障害者スポーツの認知度も、「ブラインドサッカー」で54.4%、「ボッチャ」で48.8%となっており、それぞれ、前回調査より13.1ポイント、45.6ポイント多くなっています。

障害のある人と障害のない人が一緒に楽しめるスポーツへの参加意向では、「わからない」と回答した人が62.1%と最も多く、一方で、「参加したい」と「参加したくない」がそれぞれ18.2%、18.6%でほぼ同じ割合となっています。

前回調査と比較すると、「参加したい」が5.8ポイント少なくなった一方で、「参加したくない」は3.5ポイント多くなっており、「分からない」が2.2ポイント多くなっています。

男女別に見ると、「参加したい」は女性で20.3%と男性より5.3ポイント多くなっていますが、「参加したくない」は男性で19.7%と女性より2.1ポイント多くなっています。

年代別に見ると、49歳以下の各年代で「参加したい」が「参加したくない」を上回っていますが、50歳以上の各年代では「参加したくない」が「参加したい」を上回っています。

（６）市のスポーツ推進について

①スポーツイベントの認知度について

市が行っているスポーツイベントの認知度（「参加したことがある」と「知っているが参加したことはない」の合計。以下、同じ。）は、「新春駅伝競走大会」で70.5%、「市民体育大会」で53.6%と5割を超えていますが、「市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル」と「市民健康づくり歩け歩け運動」では4割を下回っています。

また、「参加したことがある」スポーツイベントでは、最も多い「市民体育大会」でも14.0%にとどまっており、前回調査と比較しても0.4ポイントの減少となっています。

また、市のスポーツ推進委員の認知度についても、「知っている」が9.1%と前回調査より8.2ポイント少なくなっています。

②市のスポーツに関する情報の入手方法と知りたい情報について

市のスポーツに関する情報を入手する方法は「広報あきしま」が57.2%と最も多くなっていますが、他の方法は、いずれも1割以下となっています。

「特に入手していない」と回答した人が35.1%となっており、前回調査より6.3ポイント多くなっています。

男女別に情報の入手方法の割合を比較すると、「広報あきしま」や「町会回覧や掲示板」、「知人・友人からの紹介・誘い」では女性の方が多くなっていますが、「市のホームページ」では男性の方が多くなっています。

なお、情報入手手段としては「広報あきしま」は、20歳以上の各年代で最も多くなっていますが、「16～19歳」では「知人・友人からの紹介・誘い」が最も多くなっており、「広報あきしま」は2位となっています。

市のスポーツに関して知りたい情報としては、「施設の利用案内」が42.1%と最も多く、次いで「健康づくり」が32.3%、「大会やイベント情報」が27.4%となっています。

年代別では、59歳以下の各年代で「施設の利用案内」が最も多くなっていますが、60歳以上の各年代では「健康づくり」が最も多くなっています。

③市のスポーツの推進のために望まれることについて

市のスポーツの推進のために公共スポーツ施設に望まれることとして、「現在ある屋内スポーツ施設を整備」や「施設内の設備（器具・用具）を充実」、「現在ある屋外スポーツ施設を整備」が多くあげられています。

また、スポーツのしくみについては、49歳以下の各年代では「参加しやすいスポーツ行事を増やす」ことが最も多く、「50～59歳」や「60～69歳」では「初心者を対象とするスポーツ教室の開催、体力相談の充実」が、「70歳以上」では「高齢者のスポーツ活動・参加を促進するための相談、援助・支援の充実」が最も多くなっています。

さらに、市のスポーツの推進のために必要な人材については、殆どどの年代で「スポーツ指導者」が最も多くなっていますが、「20～29 歳」や「50～59 歳」、「70 歳以上」では、「健康づくり、生活習慣病予防等を指導するスポーツアドバイザー、スポーツプログラマー」が最も多くなっています。

なお、女性に限って見ると、「医学とスポーツの見知から相談、指導・アドバイスを行うスポーツドクター」と「学校の部活動をサポートする外部指導者」が同率で最も多くなっています。

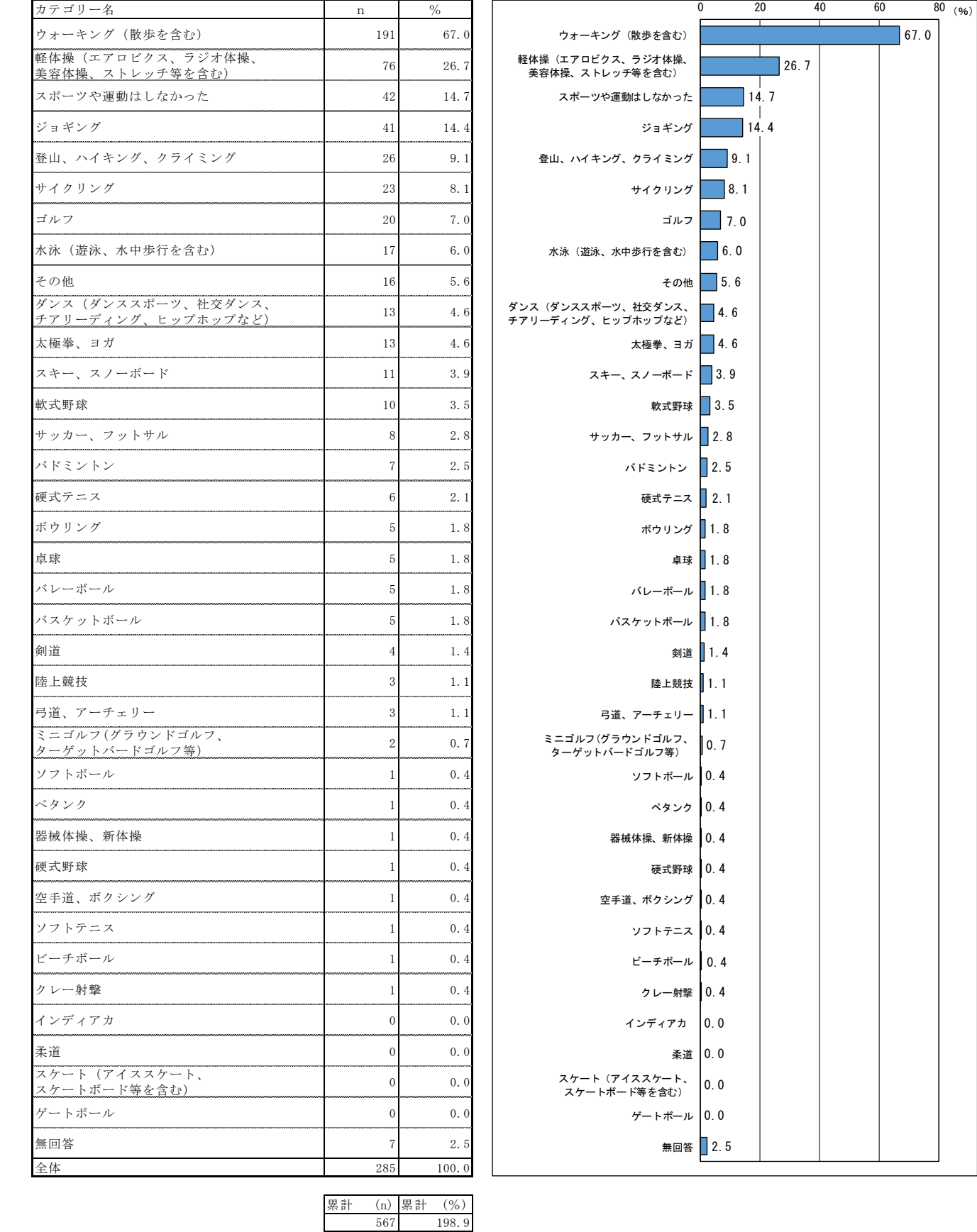
世界で活躍するスポーツ選手の育成に必要なこととしては、「小さい頃からスポーツに親しめる環境をつくること」や「いつでも練習できる場所があること」、「仲間と一緒にスポーツを楽しめる環境をつくること」が多くなっています。

最後に、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会以降も残すべきもの（レガシー）としては、「障害の有無や国籍等に関わらず市民が多様性を尊重する状態」や「市民のスポーツに対する興味・関心が高まっている状態」、「地元住民がスポーツや運動を行う機会」が多くなっています。



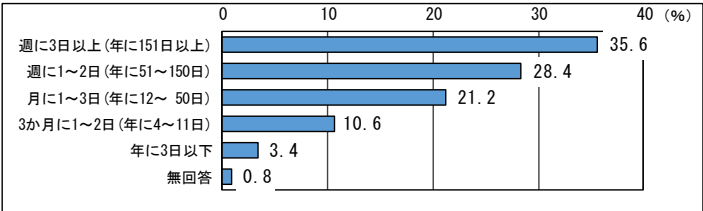
6-2-2 一般調査アンケートグラフ

問 1 あなたは、この1年間でどのようなスポーツ（ジョギングやウォーキングなどの軽い運動も含みます。）をしましたか。（MA）



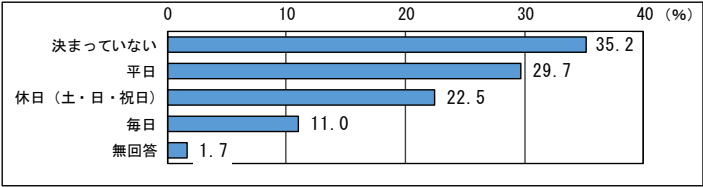
問2 そのスポーツを行った日数を合わせると、1年間に何日くらいになりますか。(SA)

カテゴリー名	n	%
週に3日以上(年に151日以上)	84	35.6
週に1~2日(年に51~150日)	67	28.4
月に1~3日(年に12~50日)	50	21.2
3か月に1~2日(年に4~11日)	25	10.6
年に3日以下	8	3.4
無回答	2	0.8
全体	236	100.0



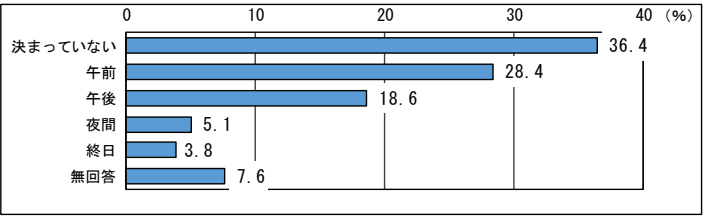
問3 スポーツを行った曜日や時間帯は、次のどれですか。(曜日)(SA)

カテゴリー名	n	%
決まっていない	83	35.2
平日	70	29.7
休日(土・日・祝日)	53	22.5
毎日	26	11.0
無回答	4	1.7
全体	236	100.0



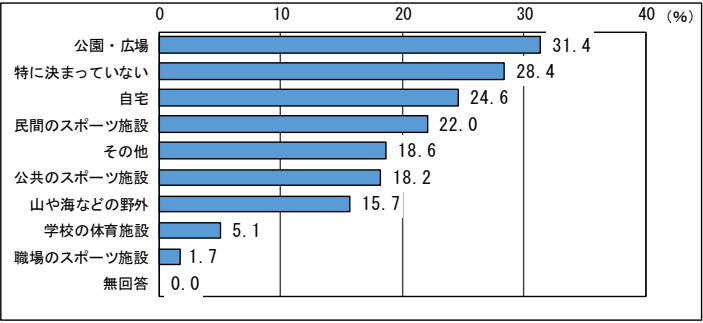
問3 スポーツを行った曜日や時間帯は、次のどれですか。(時間帯)(SA)

カテゴリー名	n	%
決まっていない	86	36.4
午前	67	28.4
午後	44	18.6
夜間	12	5.1
終日	9	3.8
無回答	18	7.6
全体	236	100.0



問4 スポーツを行った場所は、どこですか。(MA)

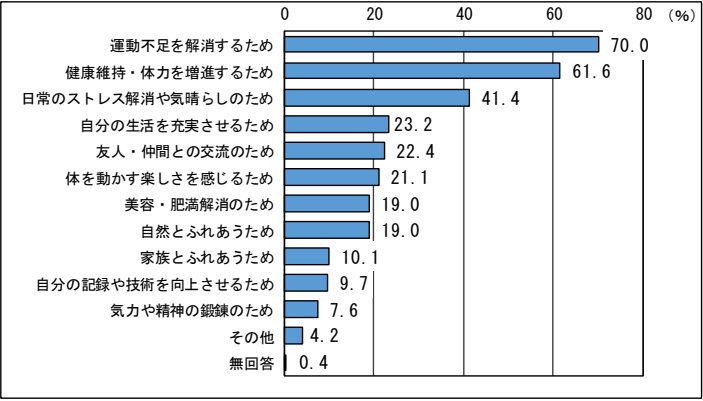
カテゴリー名	n	%
公園・広場	74	31.4
特に決まっていない	67	28.4
自宅	58	24.6
民間のスポーツ施設	52	22.0
その他	44	18.6
公共のスポーツ施設	43	18.2
山や海などの野外	37	15.7
学校の体育施設	12	5.1
職場のスポーツ施設	4	1.7
無回答	0	0.0
全体	236	100.0



累計	(n)	累計 (%)
	391	165.7

問5 どのような目的でスポーツを行いましたか。(MA)

カテゴリー名	n	%
運動不足を解消するため	166	70.0
健康維持・体力を増進するため	146	61.6
日常のストレス解消や気晴らしのため	98	41.4
自分の生活を充実させるため	55	23.2
友人・仲間との交流のため	53	22.4
体を動かす楽しさを感じるため	50	21.1
美容・肥満解消のため	45	19.0
自然とふれあうため	45	19.0
家族とふれあうため	24	10.1
自分の記録や技術を向上させるため	23	9.7
気力や精神の鍛錬のため	18	7.6
その他	10	4.2
無回答	1	0.4
全体	237	100.0



※問1で無回答の人のうち、問5に回答した人を含む。

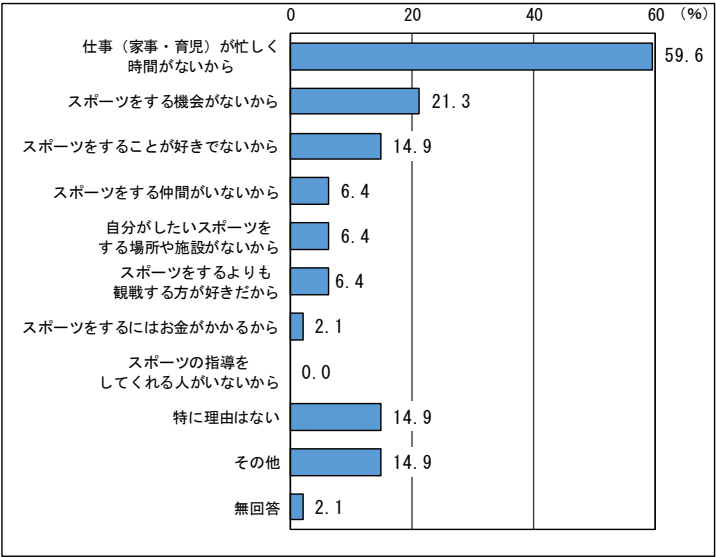
累計	(n)	累計 (%)
	391	165.7

問6 スポーツをしなかったのはどのような理由からですか。(MA)

カテゴリー名	n	%
仕事（家事・育児）が忙しく 時間がないから	28	59.6
スポーツをする機会がないから	10	21.3
スポーツをすることが好きでないから	7	14.9
スポーツをする仲間がないから	3	6.4
自分がしたいスポーツを する場所や施設がないから	3	6.4
スポーツをするよりも 観戦する方が好きだから	3	6.4
スポーツをするにはお金がかかるから	1	2.1
スポーツの指導を してくれる人がいないから	0	0.0
特に理由はない	7	14.9
その他	7	14.9
無回答	1	2.1
全体	47	100.0

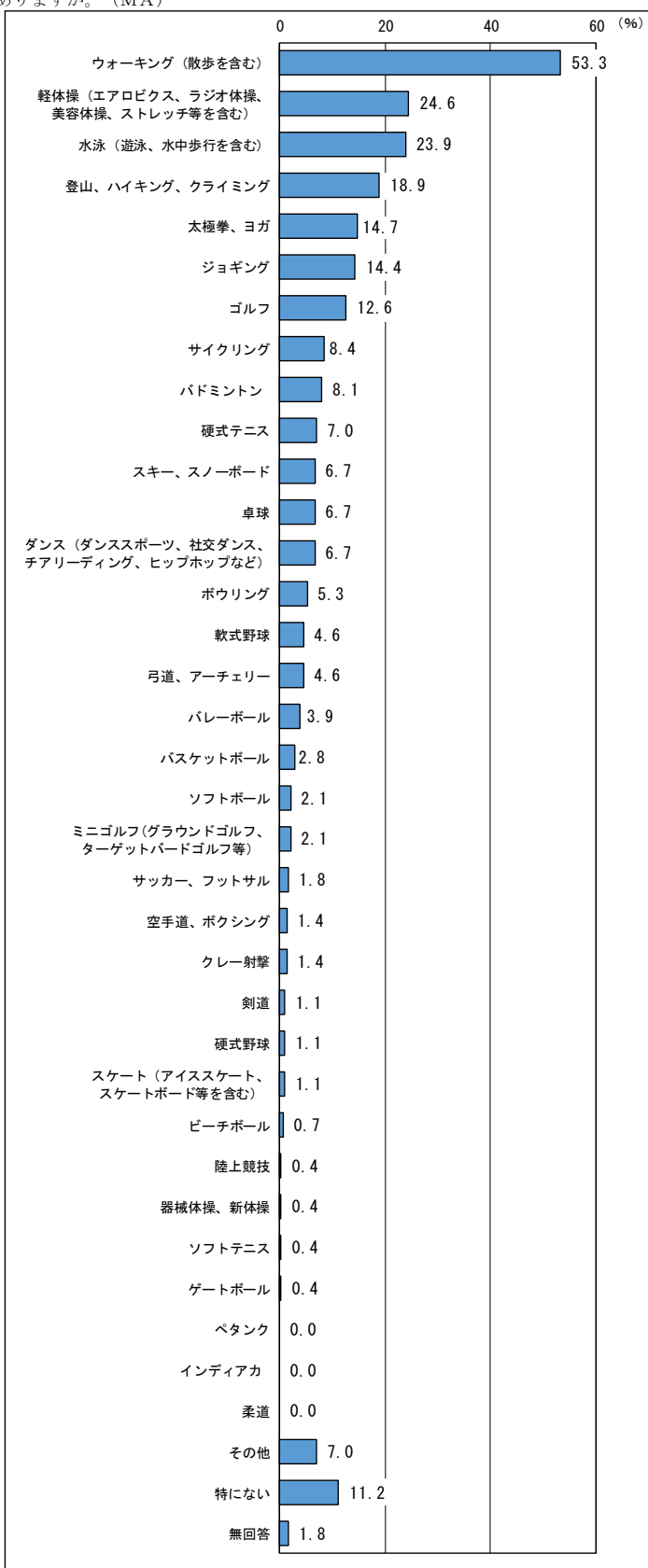
※問1で無回答の人のうち、問6に回答した人を含む。

累計	(n)	累計	(%)
	70		148.9



問7 今後、新しくしてみたい、または今後も続けていきたいと思うスポーツはありますか。(MA)

カテゴリー名	n	%
ウォーキング（散歩を含む）	152	53.3
軽体操（エアロビクス、ラジオ体操、美容体操、ストレッチ等を含む）	70	24.6
水泳（遊泳、水中歩行を含む）	68	23.9
登山、ハイキング、クライミング	54	18.9
太極拳、ヨガ	42	14.7
ジョギング	41	14.4
ゴルフ	36	12.6
サイクリング	24	8.4
バドミントン	23	8.1
硬式テニス	20	7.0
スキー、スノーボード	19	6.7
卓球	19	6.7
ダンス（ダンススポーツ、社交ダンス、チアリーディング、ヒップホップなど）	19	6.7
ボウリング	15	5.3
軟式野球	13	4.6
弓道、アーチェリー	13	4.6
バレーボール	11	3.9
バスケットボール	8	2.8
ソフトボール	6	2.1
ミニゴルフ（グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ等）	6	2.1
サッカー、フットサル	5	1.8
空手道、ボクシング	4	1.4
クレ射撃	4	1.4
剣道	3	1.1
硬式野球	3	1.1
スケート（アイススケート、スケートボード等を含む）	3	1.1
ビーチボール	2	0.7
陸上競技	1	0.4
器械体操、新体操	1	0.4
ソフトテニス	1	0.4
ゲートボール	1	0.4
ペタンク	0	0.0
インディアカ	0	0.0
柔道	0	0.0
その他	20	7.0
特にない	32	11.2
無回答	5	1.8
全体	285	100.0

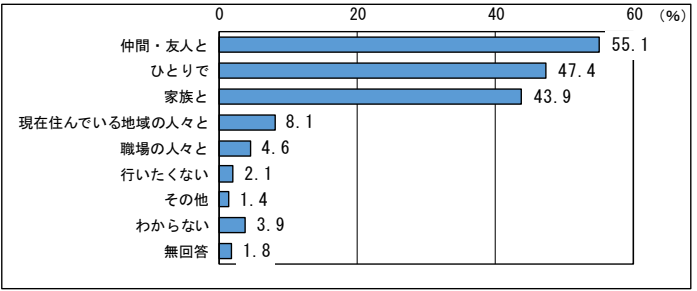


累計	(n)	累計 (%)
	744	261.1

問8 スポーツを行う場合、誰と行いたいと思いますか。(MA)

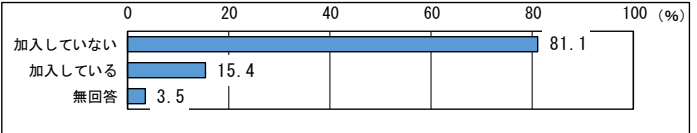
カテゴリー名	n	%
仲間・友人と	157	55.1
ひとりで	135	47.4
家族と	125	43.9
現在住んでいる地域の人々と	23	8.1
職場の人々と	13	4.6
行いたくない	6	2.1
その他	4	1.4
わからない	11	3.9
無回答	5	1.8
全体	285	100.0

累計	(n)	累計 (%)
	479	168.1



問9 あなたは、スポーツのクラブ・同好会に加入していますか。(SA)

カテゴリー名	n	%
加入していない	231	81.1
加入している	44	15.4
無回答	10	3.5
全体	285	100.0

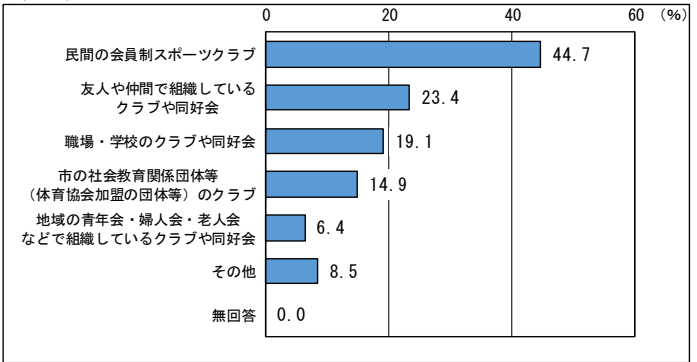


問10 あなたが加入しているのは、どのようなスポーツのクラブ・同好会ですか。(MA)

カテゴリー名	n	%
民間の会員制スポーツクラブ	21	44.7
友人や仲間と組織しているクラブや同好会	11	23.4
職場・学校のクラブや同好会	9	19.1
市の社会教育関係団体等(体育協会加盟の団体等)のクラブ	7	14.9
地域の青年会・婦人会・老人会などで組織しているクラブや同好会	3	6.4
その他	4	8.5
無回答	0	0.0
全体	47	100.0

※問9で無回答の人のうち、問10に回答した人を含む。

累計	(n)	累計 (%)
	55	117.0

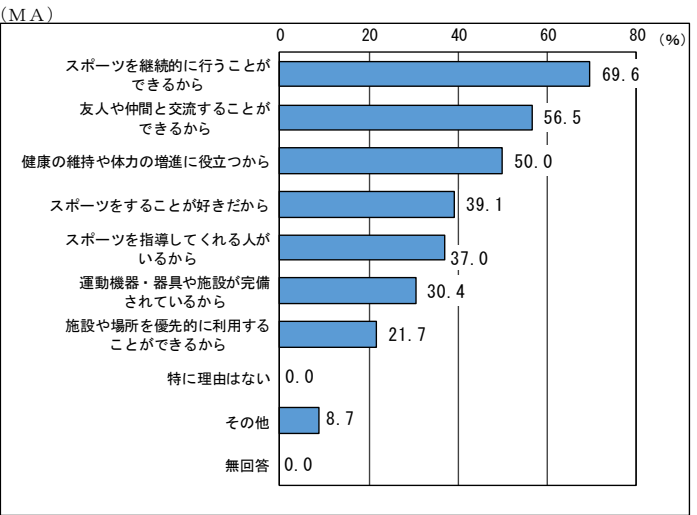


問11 あなたがスポーツのクラブ・同好会の団体に加入した動機はなんですか。(MA)

カテゴリー名	n	%
スポーツを継続的に行うことができるから	32	69.6
友人や仲間と交流することができるから	26	56.5
健康の維持や体力の増進に役立つから	23	50.0
スポーツをすることが好きだから	18	39.1
スポーツを指導してくれる人がいるから	17	37.0
運動機器・器具や施設が完備されているから	14	30.4
施設や場所を優先的に利用することができるから	10	21.7
特に理由はない	0	0.0
その他	4	8.7
無回答	0	0.0
全体	46	100.0

※問9で無回答の人のうち、問11に回答した人を含む。

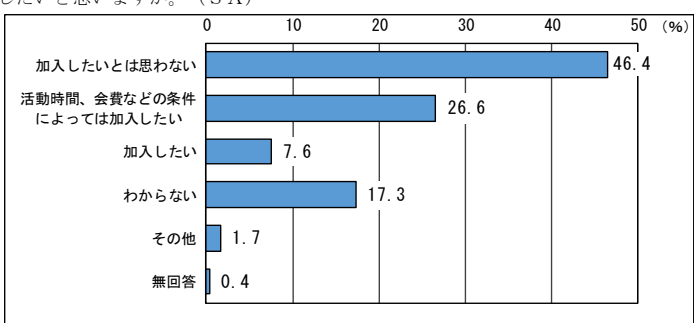
累計	(n)	累計 (%)
	144	313.0



問12 お住まいの地域にあなたの好きなスポーツのクラブ・同好会があれば加入したいと思いますか。（S A）

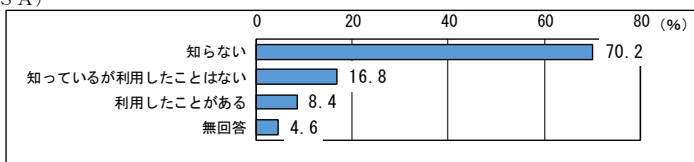
カテゴリー名	n	%
加入したいとは思わない	110	46.4
活動時間、会費などの条件によっては加入したい	63	26.6
加入したい	18	7.6
わからない	41	17.3
その他	4	1.7
無回答	1	0.4
全体	237	100.0

※問9で無回答の人のうち、問12に回答した人を含む。



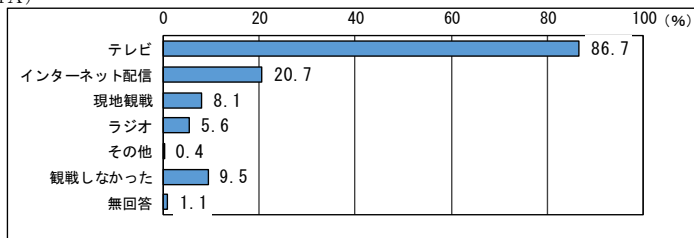
問13 地域の人たちが中心になって自主的に設立・運営し、幅広い年齢層の市民がスポーツを楽しむ、交流する総合型地域スポーツクラブ（昭島くじらスポーツクラブ）を知っていますか。（S A）

カテゴリー名	n	%
知らない	200	70.2
知っているが利用したことはない	48	16.8
利用したことがある	24	8.4
無回答	13	4.6
全体	285	100.0



問14 あなたは、この1年間にどのような方法でスポーツ観戦をしましたか。（M A）

カテゴリー名	n	%
テレビ	247	86.7
インターネット配信	59	20.7
現地観戦	23	8.1
ラジオ	16	5.6
その他	1	0.4
観戦しなかった	27	9.5
無回答	3	1.1
全体	285	100.0



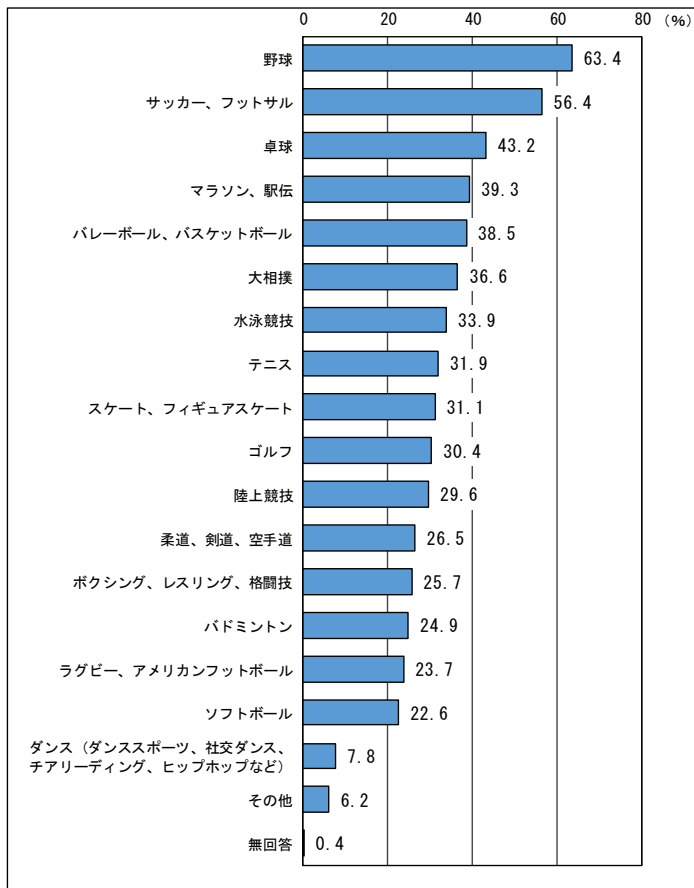
累計 (n)	累計 (%)
376	131.9

問15 あなたは、この1年間にスポーツ観戦した種目はどれですか。（M A）

カテゴリー名	n	%
野球	163	63.4
サッカー、フットサル	145	56.4
卓球	111	43.2
マラソン、駅伝	101	39.3
バレーボール、バスケットボール	99	38.5
大相撲	94	36.6
水泳競技	87	33.9
テニス	82	31.9
スケート、フィギュアスケート	80	31.1
ゴルフ	78	30.4
陸上競技	76	29.6
柔道、剣道、空手道	68	26.5
ボクシング、レスリング、格闘技	66	25.7
バドミントン	64	24.9
ラグビー、アメリカンフットボール	61	23.7
ソフトボール	58	22.6
ダンス（ダンススポーツ、社交ダンス、チャアリーディング、ヒップホップなど）	20	7.8
その他	16	6.2
無回答	1	0.4
全体	257	100.0

※問14で無回答の人のうち、問15に回答した人を含む。

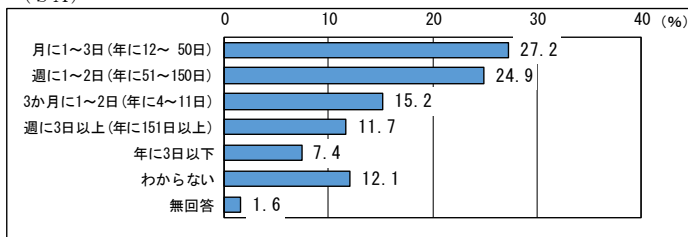
累計 (n)	累計 (%)
1,470	572.0



問16 スポーツを観戦した日数を合わせると、1年間に何日くらいになりますか。(S A)

カテゴリー名	n	%
月に1～3日(年に12～50日)	70	27.2
週に1～2日(年に51～150日)	64	24.9
3か月に1～2日(年に4～11日)	39	15.2
週に3日以上(年に151日以上)	30	11.7
年に3日以下	19	7.4
わからない	31	12.1
無回答	4	1.6
全体	257	100.0

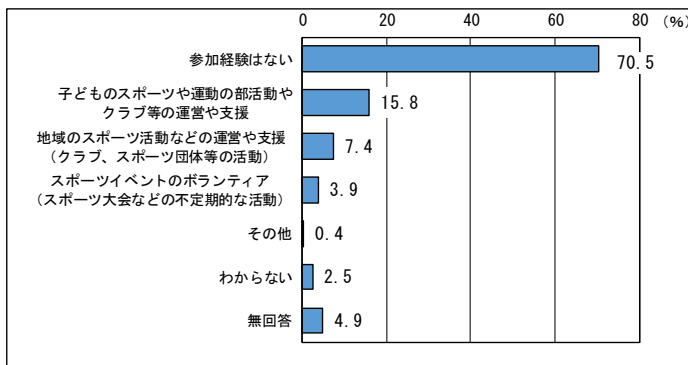
※問14で無回答の人のうち、問16に回答した人を含む。



問17 あなたは、スポーツを支える活動の参加経験はありますか。(MA)

カテゴリー名	n	%
参加経験はない	201	70.5
子どものスポーツや運動の部活動やクラブ等の運営や支援	45	15.8
地域のスポーツ活動などの運営や支援(クラブ、スポーツ団体等の活動)	21	7.4
スポーツイベントのボランティア(スポーツ大会などの不定期的な活動)	11	3.9
その他	1	0.4
わからない	7	2.5
無回答	14	4.9
全体	285	100.0

累計 (n)	累計 (%)
300	105.3

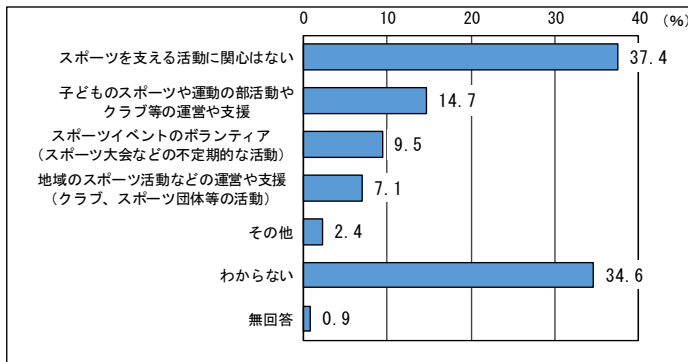


問18 スポーツを支える活動の中で、関心のある活動はありますか。(MA)

カテゴリー名	n	%
スポーツを支える活動に関心はない	79	37.4
子どものスポーツや運動の部活動やクラブ等の運営や支援	31	14.7
スポーツイベントのボランティア(スポーツ大会などの不定期的な活動)	20	9.5
地域のスポーツ活動などの運営や支援(クラブ、スポーツ団体等の活動)	15	7.1
その他	5	2.4
わからない	73	34.6
無回答	2	0.9
全体	211	100.0

※問17で無回答の人のうち、問18に回答した人を含む。

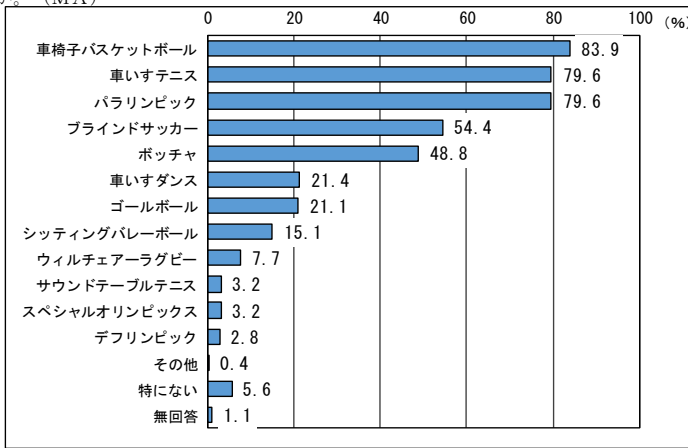
累計 (n)	累計 (%)
225	106.6



問19 あなたが知っている、または聞いたことがある障害者スポーツはどれですか。(MA)

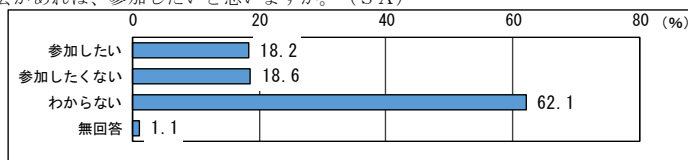
カテゴリー名	n	%
車椅子バスケットボール	239	83.9
車いすテニス	227	79.6
パラリンピック	227	79.6
ブラインドサッカー	155	54.4
ボッチャ	139	48.8
車いすダンス	61	21.4
ゴールボール	60	21.1
シットリングバレーボール	43	15.1
ウィルチェアーラグビー	22	7.7
サウンドテーブルテニス	9	3.2
スペシャルオリンピックス	9	3.2
デフリンピック	8	2.8
その他	1	0.4
特にない	16	5.6
無回答	3	1.1
全体	285	100.0

累計 (n)	累計 (%)
1,219	427.7



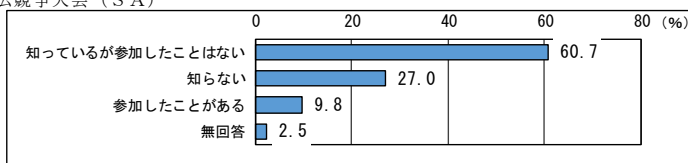
問20 あなたは、障害のある人と障害のない人とと一緒にスポーツを楽しめる機会があれば、参加したいと思いますか。（ＳＡ）

カテゴリー名	n	%
参加したい	52	18.2
参加したくない	53	18.6
わからない	177	62.1
無回答	3	1.1
全体	285	100.0



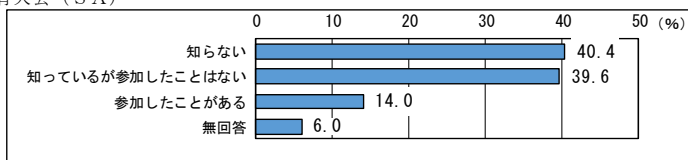
問21 あなたは、市が行っているスポーツイベントを知っていますか。①新春駅伝競争大会（ＳＡ）

カテゴリー名	n	%
知っているが参加したことはない	173	60.7
知らない	77	27.0
参加したことがある	28	9.8
無回答	7	2.5
全体	285	100.0



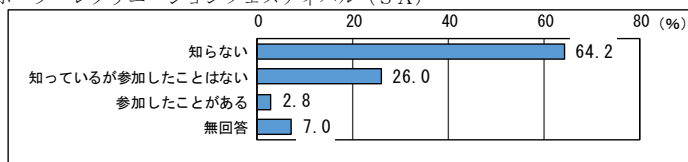
問21 あなたは、市が行っているスポーツイベントを知っていますか。②市民体育大会（ＳＡ）

カテゴリー名	n	%
知らない	115	40.4
知っているが参加したことはない	113	39.6
参加したことがある	40	14.0
無回答	17	6.0
全体	285	100.0



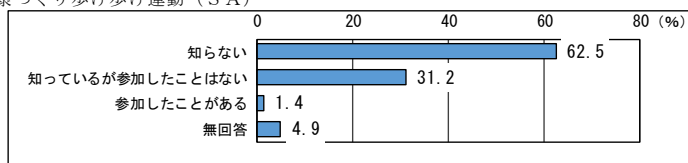
問21 あなたは、市が行っているスポーツイベントを知っていますか。③市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル（ＳＡ）

カテゴリー名	n	%
知らない	183	64.2
知っているが参加したことはない	74	26.0
参加したことがある	8	2.8
無回答	20	7.0
全体	285	100.0



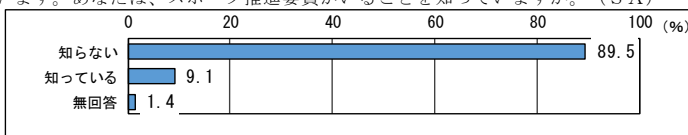
問21 あなたは、市が行っているスポーツイベントを知っていますか。④市民健康づくり歩け歩け運動（ＳＡ）

カテゴリー名	n	%
知らない	178	62.5
知っているが参加したことはない	89	31.2
参加したことがある	4	1.4
無回答	14	4.9
全体	285	100.0



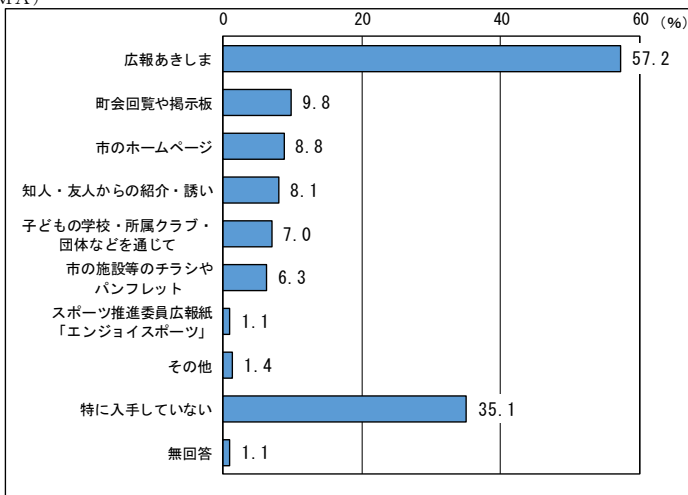
問22 昭島市には、市内小学校区を中心に、現在18人のスポーツ推進委員がいます。スポーツ推進委員は、地域スポーツ活動の振興を図ることを目標に掲げてスポーツの普及のため、市の行う行事や事業に企画から参画して協力しています。あなたは、スポーツ推進委員がいることを知っていますか。（ＳＡ）

カテゴリー名	n	%
知らない	255	89.5
知っている	26	9.1
無回答	4	1.4
全体	285	100.0



問23 あなたは、市のスポーツに関する情報をどのように入手していますか。（ＭＡ）

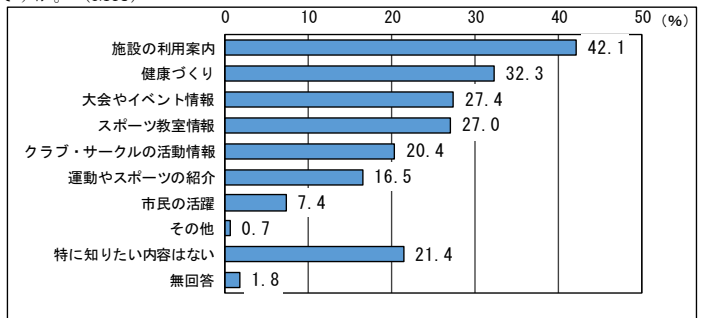
カテゴリー名	n	%
広報あきしま	163	57.2
町会回覧や掲示板	28	9.8
市のホームページ	25	8.8
知人・友人からの紹介・誘い	23	8.1
子どもの学校・所属クラブ・団体などを通じて	20	7.0
市の施設等のチラシやパンフレット	18	6.3
スポーツ推進委員広報紙「エンジョイスports」	3	1.1
その他	4	1.4
特に入手していない	100	35.1
無回答	3	1.1
全体	285	100.0



累計	(n)	累計 (%)
	387	135.8

問24 あなたは、市のスポーツに関する情報として、どのような内容を知りたいですか。（MA）

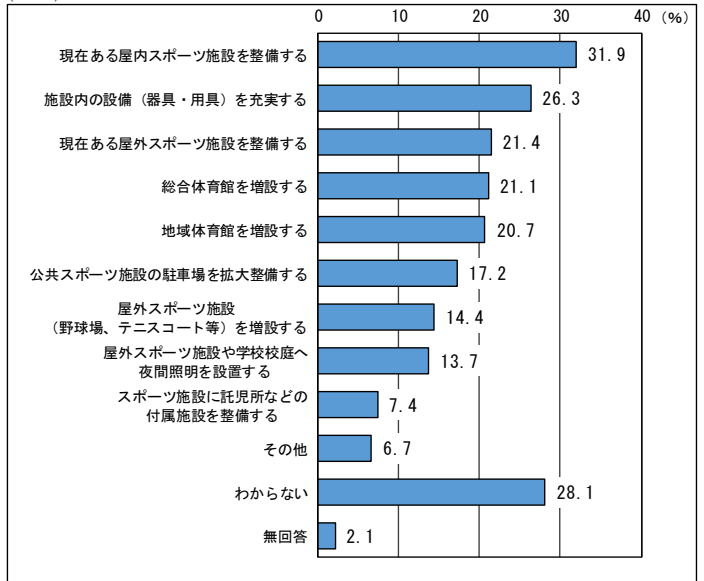
カテゴリー名	n	%
施設の利用案内	120	42.1
健康づくり	92	32.3
大会やイベント情報	78	27.4
スポーツ教室情報	77	27.0
クラブ・サークルの活動情報	58	20.4
運動やスポーツの紹介	47	16.5
市民の活躍	21	7.4
その他	2	0.7
特に知りたい内容はない	61	21.4
無回答	5	1.8
全体	285	100.0



累計	(n)	累計 (%)
561		196.8

問25 昭島市のスポーツの推進のために、公共スポーツ施設に何を望みますか。（MA）

カテゴリー名	n	%
現在ある屋内スポーツ施設を整備する	91	31.9
施設内の設備（器具・用具）を充実する	75	26.3
現在ある屋外スポーツ施設を整備する	61	21.4
総合体育館を増設する	60	21.1
地域体育館を増設する	59	20.7
公共スポーツ施設の駐車場を拡大整備する	49	17.2
屋外スポーツ施設（野球場、テニスコート等）を増設する	41	14.4
屋外スポーツ施設や学校校庭へ夜間照明を設置する	39	13.7
スポーツ施設に託児所などの付属施設を整備する	21	7.4
その他	19	6.7
わからない	80	28.1
無回答	6	2.1
全体	285	100.0

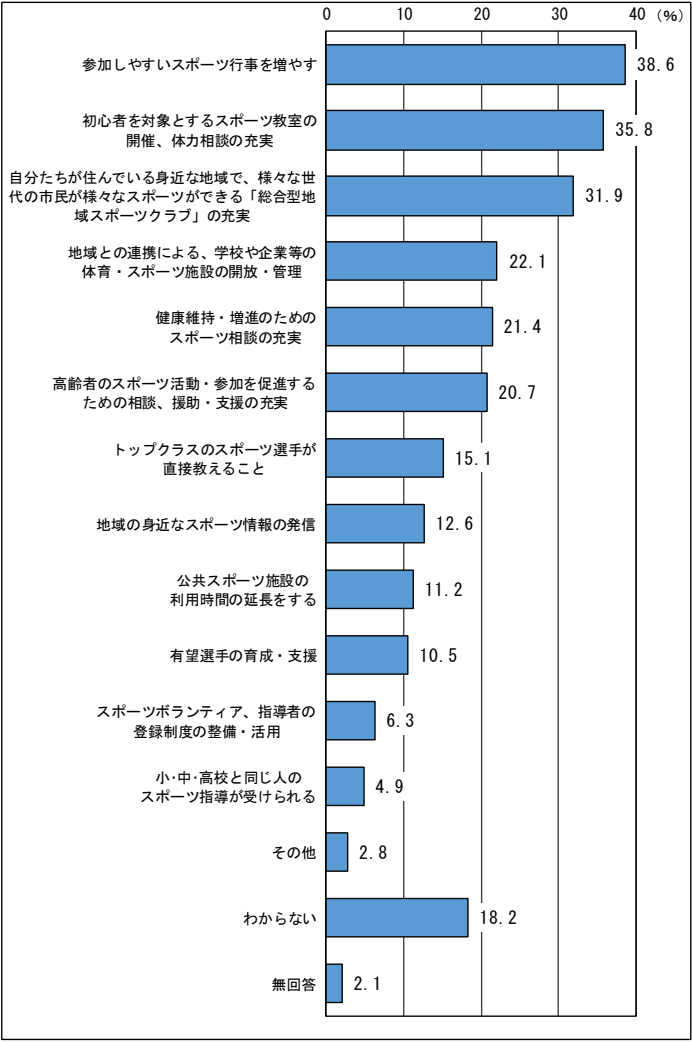


累計	(n)	累計 (%)
601		210.9



問26 昭島市のスポーツの推進のために、どのようなスポーツのしくみを望みますか。(MA)

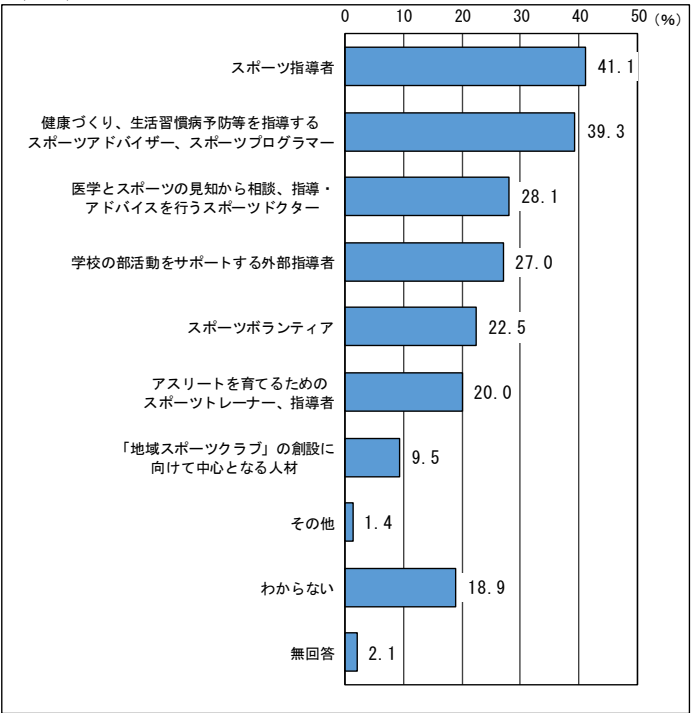
カテゴリー名	n	%
参加しやすいスポーツ行事を増やす	110	38.6
初心者を対象とするスポーツ教室の開催、体力相談の充実	102	35.8
自分たちが住んでいる身近な地域で、様々な世代の市民が様々なスポーツができる「総合型地域スポーツクラブ」の充実	91	31.9
地域との連携による、学校や企業等の体育・スポーツ施設の開放・管理	63	22.1
健康維持・増進のためのスポーツ相談の充実	61	21.4
高齢者のスポーツ活動・参加を促進するための相談、援助・支援の充実	59	20.7
トップクラスのスポーツ選手が直接教えること	43	15.1
地域の身近なスポーツ情報の発信	36	12.6
公共スポーツ施設の利用時間の延長をする	32	11.2
有望選手の育成・支援	30	10.5
スポーツボランティア、指導者の登録制度の整備・活用	18	6.3
小・中・高校と同じ人のスポーツ指導が受けられる	14	4.9
その他	8	2.8
わからない	52	18.2
無回答	6	2.1
全体	285	100.0



累計	(n)	累計 (%)
	725	254.4

問27 昭島市のスポーツの推進のために、どのような人材が必要だと思いますか。(MA)

カテゴリー名	n	%
スポーツ指導者	117	41.1
健康づくり、生活習慣病予防等を指導するスポーツアドバイザー、スポーツプログラマー	112	39.3
医学とスポーツの見知から相談、指導・アドバイスを行うスポーツドクター	80	28.1
学校の部活動をサポートする外部指導者	77	27.0
スポーツボランティア	64	22.5
アスリートを育てるためのスポーツトレーナー、指導者	57	20.0
「地域スポーツクラブ」の創設に向けて中心となる人材	27	9.5
その他	4	1.4
わからない	54	18.9
無回答	6	2.1
全体	285	100.0

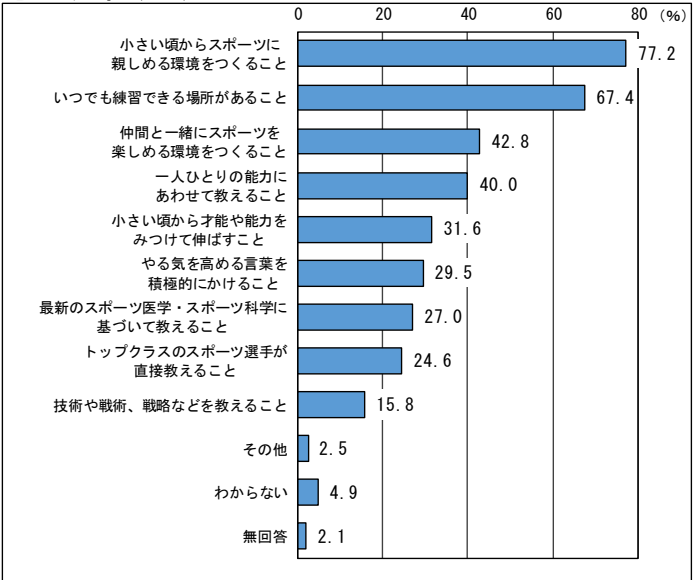


累計	(n)	累計 (%)
	598	209.8

問28 世界で活躍するスポーツ選手を育てるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（MA）

カテゴリー名	n	%
小さい頃からスポーツに親しめる環境をつくること	220	77.2
いつでも練習できる場所があること	192	67.4
仲間と一緒にスポーツを楽しむ環境をつくること	122	42.8
一人ひとりの能力にあわせて教えること	114	40.0
小さい頃から才能や能力をみつけて伸ばすこと	90	31.6
やる気を高める言葉を積極的にかけること	84	29.5
最新のスポーツ医学・スポーツ科学に基づいて教えること	77	27.0
トップクラスのスポーツ選手が直接教えること	70	24.6
技術や戦術、戦略などを教えること	45	15.8
その他	7	2.5
わからない	14	4.9
無回答	6	2.1
全体	285	100.0

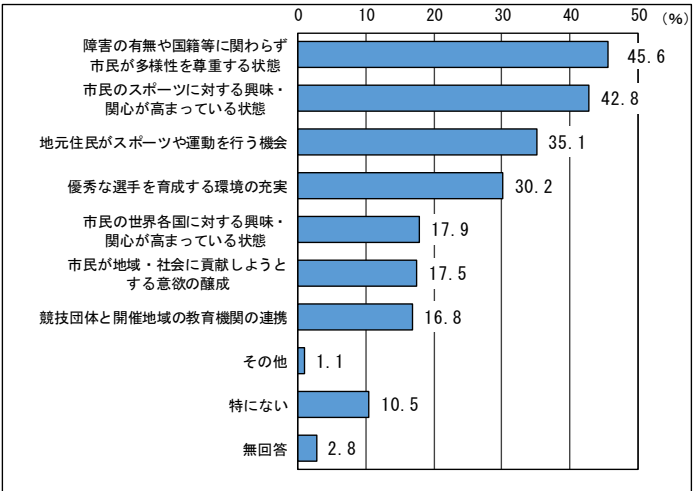
累計	(n)	累計 (%)
	1,041	365.3



問29 あなたが、東京2020オリンピック・パラリンピック大会以降も残すべきもの（レガシー）は、どのようなことだと思いますか。（MA）

カテゴリー名	n	%
障害の有無や国籍等に関わらず市民が多様性を尊重する状態	130	45.6
市民のスポーツに対する興味・関心が高まっている状態	122	42.8
地元住民がスポーツや運動を行う機会	100	35.1
優秀な選手を育成する環境の充実	86	30.2
市民の世界各国に対する興味・関心が高まっている状態	51	17.9
市民が地域・社会に貢献しようとする意欲の醸成	50	17.5
競技団体と開催地域の教育機関の連携	48	16.8
その他	3	1.1
特にない	30	10.5
無回答	8	2.8
全体	285	100.0

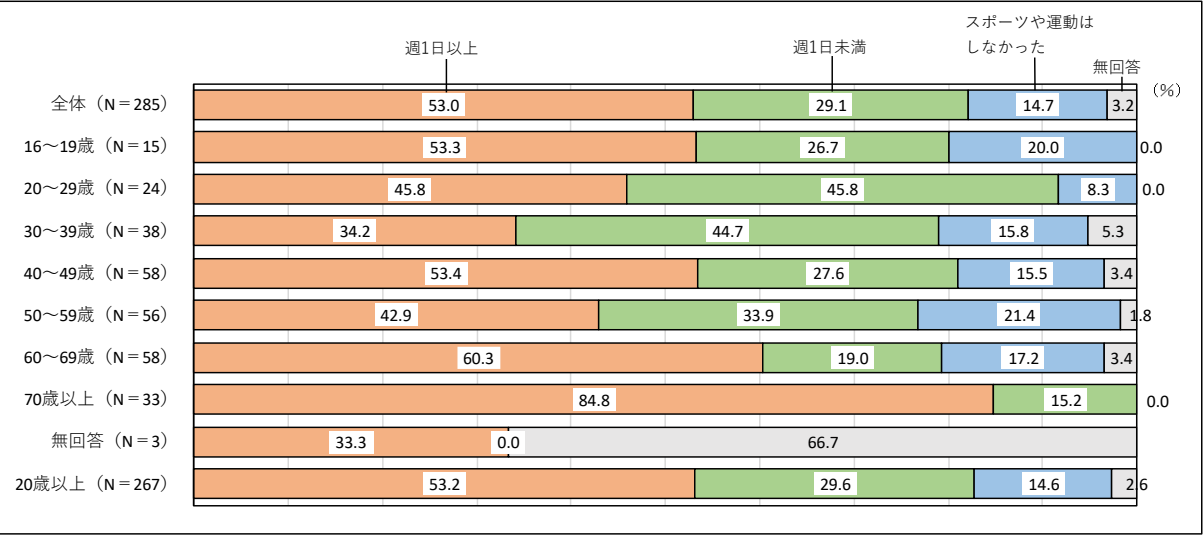
累計	(n)	累計 (%)
	628	220.4



6-2-3 一般調査クロス集計（一部抜粋）

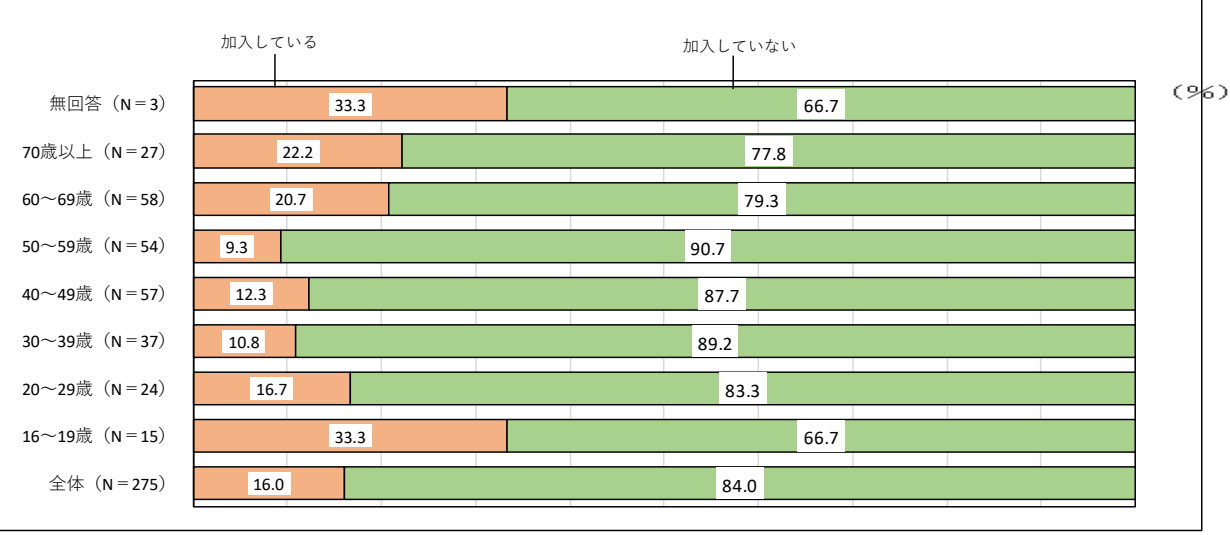
問2 そのスポーツを行った日数を合わせると、1年間に何日くらいになりますか。（年代別）

	合計	週1日以上	週1日未満	運動はしなかった	無回答
全体（N=285）	285	53.0	29.1	14.7	3.2
16～19歳（N=15）	15	53.3	26.7	20.0	0.0
20～29歳（N=24）	24	45.8	45.8	8.3	0.0
30～39歳（N=38）	38	34.2	44.7	15.8	5.3
40～49歳（N=58）	58	53.4	27.6	15.5	3.4
50～59歳（N=56）	56	42.9	33.9	21.4	1.8
60～69歳（N=58）	58	60.3	19.0	17.2	3.4
70歳以上（N=33）	33	84.8	15.2	0.0	0.0
無回答（N=3）	3	33.3	0.0	0.0	66.7
20歳以上（N=267）	267	53.2	29.6	14.6	2.6



問9 あなたは、スポーツのクラブ・同好会に加入していますか。（年代別）

	合計	加入している	加入していない
全体（N=275）	275	16.0	84.0
16～19歳（N=15）	15	33.3	66.7
20～29歳（N=24）	24	16.7	83.3
30～39歳（N=37）	37	10.8	89.2
40～49歳（N=57）	57	12.3	87.7
50～59歳（N=54）	54	9.3	90.7
60～69歳（N=58）	58	20.7	79.3
70歳以上（N=27）	27	22.2	77.8
無回答（N=3）	3	33.3	66.7
20歳以上（N=257）	257	14.8	85.2



6-3-1 中学生調査結果

(1) スポーツの実施状況について

スポーツを見るのが「好き（「とても好き」と「どちらかという好き」の合計）」と回答した人は88.2%と前回調査より5.7ポイント多くなっており、スポーツをするのが「好き（「とても好き」と「どちらかという好き」の合計）」と回答した人は、前回調査より2.1ポイント多くなり76.8%となっています。

体育の授業以外では、男性では「学校の運動部活動で」や「友達や仲間自由に」でスポーツをする状況が女性より多く、女性では「家族と自由に」スポーツをする状況が男性より多くなっており、スポーツをする場所は、「学校の体育施設」や「公園・広場」、「自宅」が多く、約9割の人が「週1日以上（「週に3日以上(年に151日以上)」及び「週に1～2日(年に51～150日)」の合計。以下、同じ。）」スポーツを行っていると回答していますが、前回調査と比較すると3.9ポイントの減少となっています。

体育の授業以外で行っているスポーツは「ウォーキング（散歩を含む）」や「ジョギング」、「バドミントン」が多く、その理由としては、「健康や体力を増進させるため」や「友人や仲間と楽しむため」、「スポーツが好きだから」が多くなっています。

なお、男女別に見ると、「ウォーキング（散歩を含む）」や「バドミントン」、「ダンス（ダンススポーツ、社交ダンス、チアリーディング、ヒップホップなど）」「軽体操（エアロビクス、ラジオ体操、美容体操、ストレッチ等を含む）」では男性より女性で多く、「ジョギング」や「サッカー、フットサル」では女性より男性で多くなっています。

一方で、体育の授業以外でスポーツを実施していない人の理由では、「スポーツをするのが好きでないから」と回答していた人が6割以上となっていますが、「特に理由はない」と回答した人も約3割となっており、「スポーツをするのが好きでないから」や「塾や習い事などがあり時間がなから」と回答した人は、男性より女性で多くなっており、「特に理由はない」や「スポーツを一緒にする仲間がいないから」と回答した人は、女性より男性で多くなっています。

また、これからしてみたい、または今後も続けていきたいスポーツは、「ウォーキング（散歩を含む）」や「ジョギング」、「バドミントン」が多く、その理由としては、「身体を鍛えたいから」や「家族や友人がやっているから」、「身近に練習環境があるから」、「会場またテレビで観戦して影響をうけたから」と回答した人が多くなっています。

(2) 市のスポーツ推進について

中学生がスポーツを楽しむためには、「いろいろなスポーツがいつでも・どこでも・だれでも、楽しめるようなスポーツクラブをつくる」ことや「学校の運動器具・用具をそろえる」こと、「学校の体育館やプール、校庭などの体育施設を使いやすくとのえる」ことが必要だと回答した人が多くなっていますが、男性では、「地域ごとにスポーツ・運動施設をととのえる」ことが必要と回答した人が女性より20.0ポイント多く、女性では、「プロスポーツ選手やトップクラスの選手の話や指導を受ける機会を増やす」ことが必要と回答した人が男性より11.6ポイント多くなっています。

また、中学生が世界で活躍するスポーツ選手になるためには、「小さい頃からスポーツに親しめる環境をつくること」が必要と回答した人が約7割となっており、その他の回答では、「いつでも練習できる場所があること」や「仲間と一緒にスポーツを楽しむ」ことが必要と回答した人が約6割となっています。

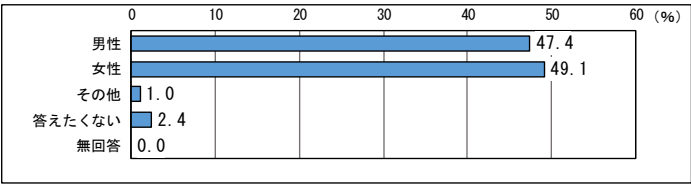
なお、男性では、「最新のスポーツ医学・スポーツ科学に基づいて教えてもらうこと」や「トップクラスのスポーツ選手に直接教えてもらうこと」が必要と回答した人が女性より約10ポイント多くなっています。



6-3-2 中学生アンケートグラフ

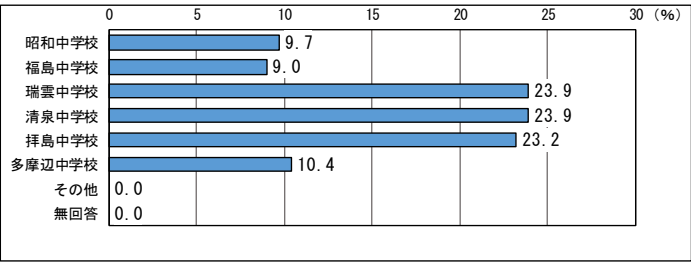
問 1 あなたの性別は次のうちどれですか。（S A）

カテゴリー名	n	%
男性	137	47.4
女性	142	49.1
その他	3	1.0
答えたくない	7	2.4
無回答	0	0.0
全体	289	100.0



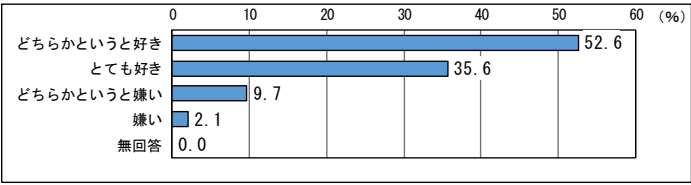
問 2 あなたが通っている学校名をご記入ください。（S A）

カテゴリー名	n	%
昭和中学校	28	9.7
福島中学校	26	9.0
瑞雲中学校	69	23.9
清泉中学校	69	23.9
拝島中学校	67	23.2
多摩辺中学校	30	10.4
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	289	100.0



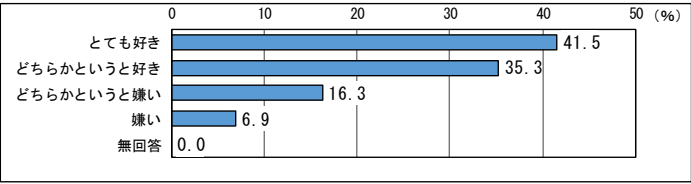
問 3 あなたは、スポーツを見るのは好きですか。（S A）

カテゴリー名	n	%
どちらかという好き	152	52.6
とても好き	103	35.6
どちらかという嫌い	28	9.7
嫌い	6	2.1
無回答	0	0.0
全体	289	100.0



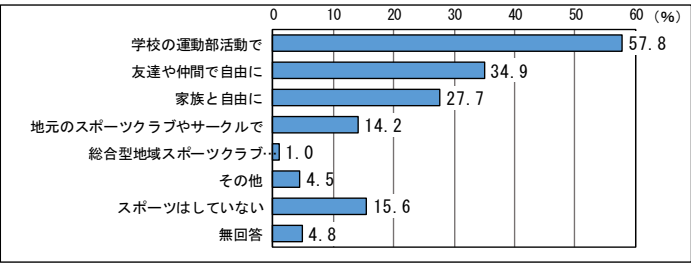
問 4 あなたは、スポーツをするのは好きですか。（S A）

カテゴリー名	n	%
とても好き	120	41.5
どちらかという好き	102	35.3
どちらかという嫌い	47	16.3
嫌い	20	6.9
無回答	0	0.0
全体	289	100.0



問 5 あなたは、体育の授業以外で、スポーツをしていますか。（M A）

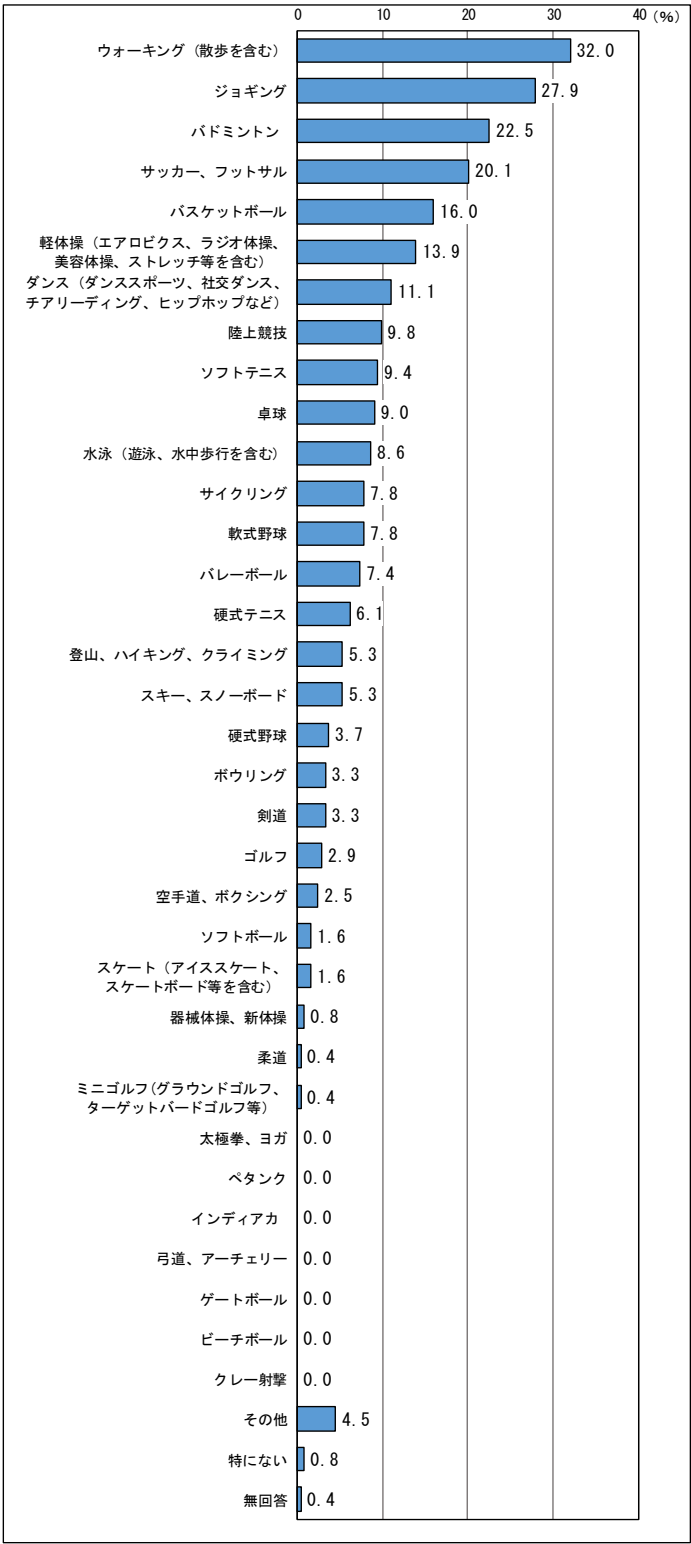
カテゴリー名	n	%
学校の運動部活動で	167	57.8
友達や仲間自由に	101	34.9
家族と自由に	80	27.7
地元のスポーツクラブやサークルで	41	14.2
総合型地域スポーツクラブ	3	1.0
その他	13	4.5
スポーツはしていない	45	15.6
無回答	14	4.8
全体	289	100.0



累計	(n)	累計	(%)
	464		160.6

問6 あなたは、体育の授業以外で、どんなスポーツをしていますか。(MA)

カテゴリー名	n	%
ウォーキング（散歩を含む）	78	32.0
ジョギング	68	27.9
バドミントン	55	22.5
サッカー、フットサル	49	20.1
バスケットボール	39	16.0
軽体操	34	13.9
ダンス	27	11.1
陸上競技	24	9.8
ソフトテニス	23	9.4
卓球	22	9.0
水泳（遊泳、水中歩行を含む）	21	8.6
サイクリング	19	7.8
軟式野球	19	7.8
バレーボール	18	7.4
硬式テニス	15	6.1
登山、ハイキング、クライミング	13	5.3
スキー、スノーボード	13	5.3
硬式野球	9	3.7
ボウリング	8	3.3
剣道	8	3.3
ゴルフ	7	2.9
空手道、ボクシング	6	2.5
ソフトボール	4	1.6
スケート（アイススケート、 スケートボード等を含む）	4	1.6
器械体操、新体操	2	0.8
柔道	1	0.4
ミニゴルフ（グラウンドゴルフ、ターゲット パードゴルフ等）	1	0.4
太極拳、ヨガ	0	0.0
ペタンク	0	0.0
インディアカ	0	0.0
弓道、アーチェリー	0	0.0
ゲートボール	0	0.0
ビーチボール	0	0.0
クレール射撃	0	0.0
その他	11	4.5
特になし	2	0.8
無回答	1	0.4
全体	244	100.0



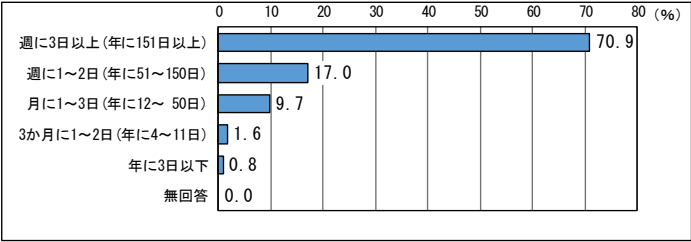
※問5で無回答の人のうち、問6に回答した人を含む。

累計	(n)	累計	(%)
	601		246.3

問7 あなたは、体育の授業以外で、何日くらいスポーツをしていますか。（S A）

カテゴリー名	n	%
週に3日以上(年に151日以上)	175	70.9
週に1～2日(年に51～150日)	42	17.0
月に1～3日(年に12～50日)	24	9.7
3か月に1～2日(年に4～11日)	4	1.6
年に3日以下	2	0.8
無回答	0	0.0
全体	247	100.0

※問5で「7」を選択、無回答の人のうち、問7に回答した人を含む。

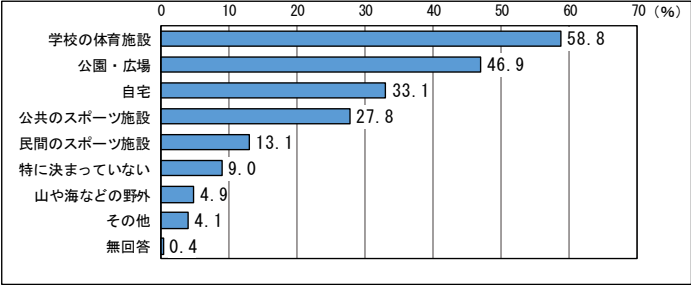


問8 あなたは、体育の授業以外で、どこでスポーツをしていますか。（MA）

カテゴリー名	n	%
学校の体育施設	144	58.8
公園・広場	115	46.9
自宅	81	33.1
公共のスポーツ施設	68	27.8
民間のスポーツ施設	32	13.1
特に決まっていない	22	9.0
山や海などの野外	12	4.9
その他	10	4.1
無回答	1	0.4
全体	245	100.0

※問5で「7」を選択、無回答の人のうち、問8に回答した人を含む。

累計	(n)	累計	(%)
	485		198.0

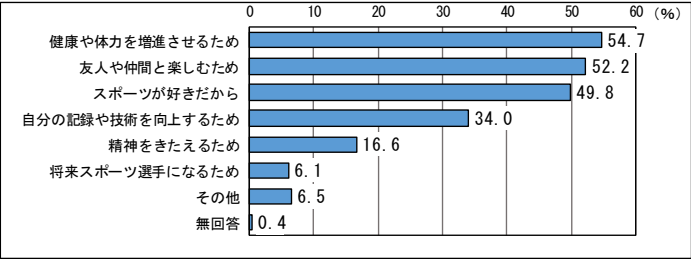


問9 あなたが体育の授業以外でスポーツをする理由は何ですか。（MA）

カテゴリー名	n	%
健康や体力を増進させるため	135	54.7
友人や仲間と楽しむため	129	52.2
スポーツが好きだから	123	49.8
自分の記録や技術を向上するため	84	34.0
精神をきたえるため	41	16.6
将来スポーツ選手になるため	15	6.1
その他	16	6.5
無回答	1	0.4
全体	247	100.0

※問5で「7」を選択、無回答の人のうち、問9に回答した人を含む。

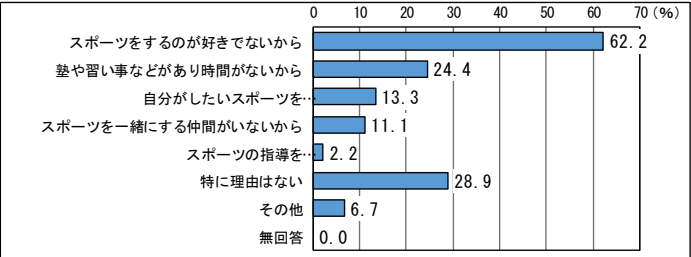
累計	(n)	累計	(%)
	544		220.2



問10 あなたが体育の授業以外でスポーツをしていない理由は何ですか。（MA）

カテゴリー名	n	%
スポーツをするのが好きでないから	28	62.2
塾や習い事などがあり時間がないから	11	24.4
自分がしたいスポーツをする場所や施設がないから	6	13.3
スポーツと一緒にする仲間がいないから	5	11.1
スポーツの指導をしてくれる人がいないから	1	2.2
特に理由はない	13	28.9
その他	3	6.7
無回答	0	0.0
全体	45	100.0

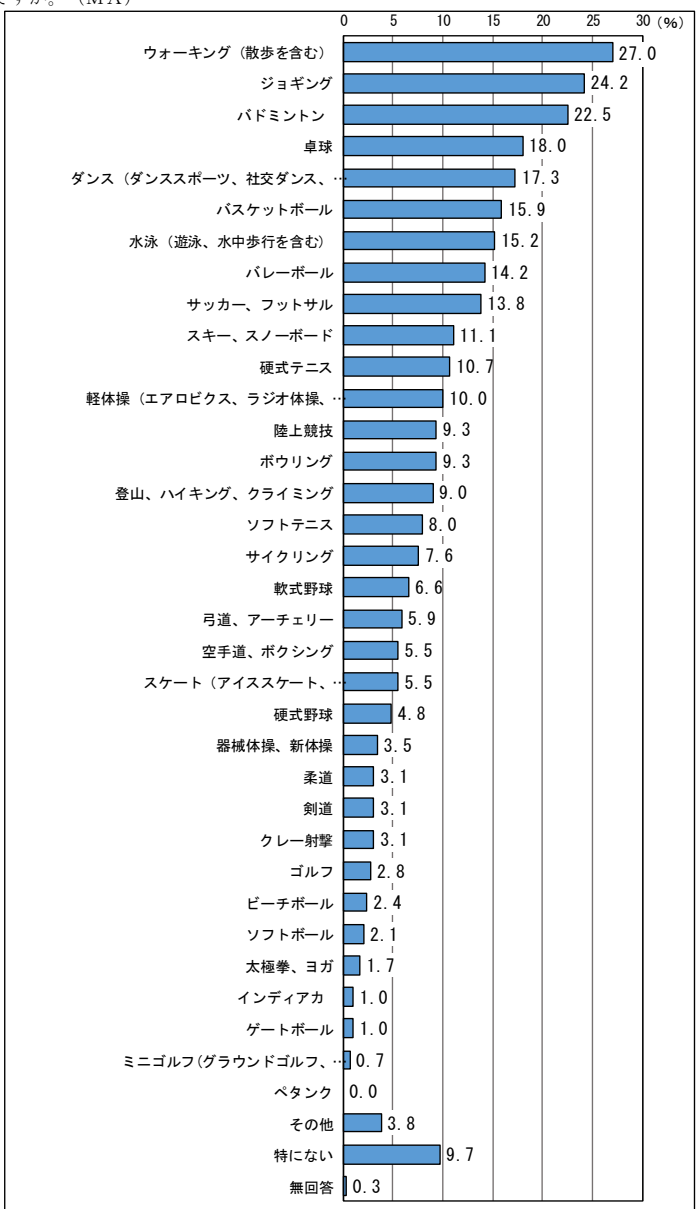
累計	(n)	累計	(%)
	67		148.9



問11 あなたがこれからしてみたい、または今後も続けていきたいスポーツは何ですか。(MA)

カテゴリー名	n	%
ウォーキング（散歩を含む）	78	27.0
ジョギング	70	24.2
バドミントン	65	22.5
卓球	52	18.0
ダンス	50	17.3
バスケットボール	46	15.9
水泳（遊泳、水中歩行を含む）	44	15.2
バレーボール	41	14.2
サッカー、フットサル	40	13.8
スキー、スノーボード	32	11.1
硬式テニス	31	10.7
軽体操	29	10.0
陸上競技	27	9.3
ボウリング	27	9.3
登山、ハイキング、クライミング	26	9.0
ソフトテニス	23	8.0
サイクリング	22	7.6
軟式野球	19	6.6
弓道、アーチェリー	17	5.9
空手道、ボクシング	16	5.5
スケート（スケートボード等を含む）	16	5.5
硬式野球	14	4.8
器械体操、新体操	10	3.5
柔道	9	3.1
剣道	9	3.1
クレ射撃	9	3.1
ゴルフ	8	2.8
ビーチボール	7	2.4
ソフトボール	6	2.1
太極拳、ヨガ	5	1.7
インディアカ	3	1.0
ゲートボール	3	1.0
ミニゴルフ（グラウンドゴルフ、ターゲットボードゴルフ等）	2	0.7
ベタンク	0	0.0
その他	11	3.8
特にない	28	9.7
無回答	1	0.3
全体	289	100.0

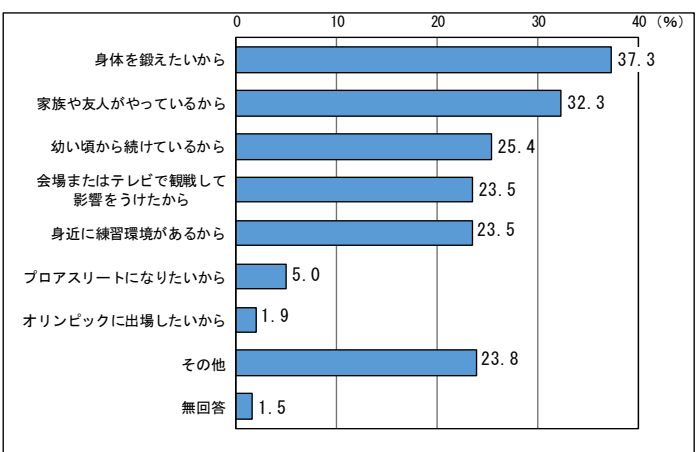
累計	(n)	累計 (%)
	896	310.0



問12 問11で競技を選んだ理由は何ですか。(MA)

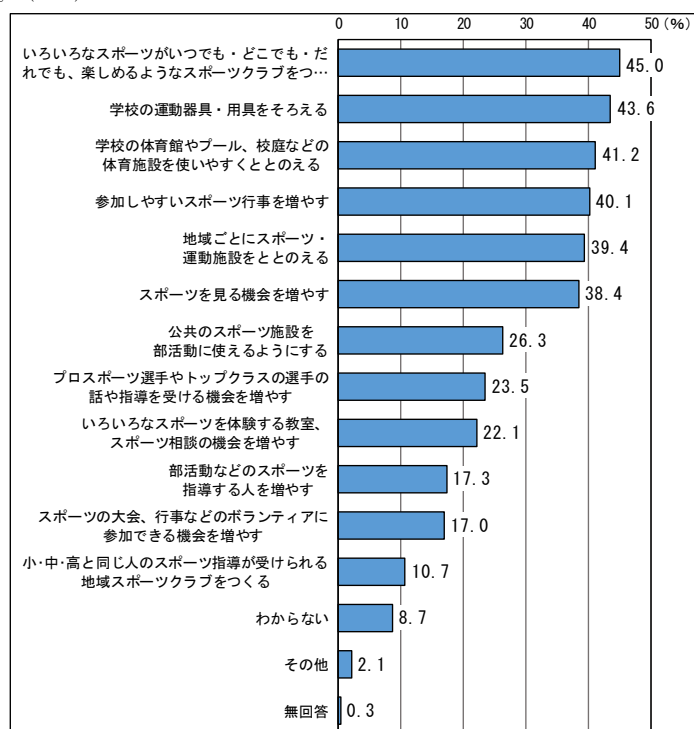
カテゴリー名	n	%
身体を鍛えたいから	97	37.3
家族や友人がやっているから	84	32.3
幼い頃から続けているから	66	25.4
会場またはテレビで観戦して影響をうけたから	61	23.5
身近に練習環境があるから	61	23.5
プロアスリートになりたいから	13	5.0
オリンピックに出場したいから	5	1.9
その他	62	23.8
無回答	4	1.5
全体	260	100.0

累計	(n)	累計 (%)
	453	174.2



問13 中学生がスポーツを楽しむためには、どのようにしたらよいと思いますか。(MA)

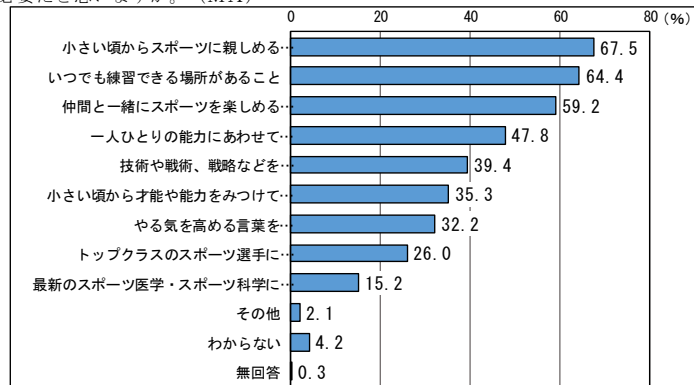
カテゴリー名	n	%
いろいろなスポーツがいつでも・どこでも・だれでも、楽しめるようなスポーツクラブをつくる	130	45.0
学校の運動器具・用具をそろえる	126	43.6
学校の体育館やプール、校庭などの体育施設を使いやすくとのえる	119	41.2
参加しやすいスポーツ行事を増やす	116	40.1
地域ごとにスポーツ・運動施設をととのえる	114	39.4
スポーツを見る機会を増やす	111	38.4
公共のスポーツ施設を部活動に使えるようにする	76	26.3
プロスポーツ選手やトップクラスの選手の話を指導を受ける機会を増やす	68	23.5
いろいろなスポーツを体験する教室、スポーツ相談の機会を増やす	64	22.1
部活動などのスポーツを指導する人を増やす	50	17.3
スポーツの大会、行事などのボランティアに参加できる機会を増やす	49	17.0
小・中・高と同じ人のスポーツ指導が受けられる地域スポーツクラブをつくる	31	10.7
わからない	25	8.7
その他	6	2.1
無回答	1	0.3
全体	289	100.0



累計	(n)	累計	(%)
	1,086		375.8

問14 中学生が世界で活躍するスポーツ選手になるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(MA)

カテゴリー名	n	%
小さい頃からスポーツに親しめる環境をつくること	195	67.5
いつでも練習できる場所があること	186	64.4
仲間と一緒にスポーツを楽しめる環境をつくること	171	59.2
一人ひとりの能力にあわせて教えてもらうこと	138	47.8
技術や戦術、戦略などを教えてもらうこと	114	39.4
小さい頃から才能や能力をみつけて伸ばしてもらうこと	102	35.3
やる気を高める言葉を積極的にかけてもらうこと	93	32.2
トップクラスのスポーツ選手に直接教えてもらうこと	75	26.0
最新のスポーツ医学・スポーツ科学に基づいて教えてもらうこと	44	15.2
その他	6	2.1
わからない	12	4.2
無回答	1	0.3
全体	289	100.0



累計	(n)	累計	(%)
	1,137		393.4

6-4 調査結果のまとめ

アンケート調査結果から、昭島市におけるスポーツ推進のための課題を以下に整理します。

(1) スポーツに触れ合うための機会の充実

中学生を含めた市民の約9割が、今後、何らかのスポーツをしてみたい、続けていきたいと回答しており、市民のスポーツに取り組む意欲は旺盛と考えられます。

しかし、「週1日以上」の頻度でスポーツをしている人は約5割にとどまっており、スポーツを実施した場所は、公園や広場、自宅などが多く、公共のスポーツ施設については約2割と、前回調査より10ポイント以上少なくなっています。

公共スポーツ施設については、設備（器具・用具）の充実と並び、総合体育館や地域体育館の増設を望む声が高まっており、市民がスポーツを楽しめる場の充実が求められています。

併せて、参加しやすいスポーツ行事の開催や初心者を対象とするスポーツ教室の開催・体力相談の充実、身近な地域で様々な世代の市民が様々なスポーツができる「総合型地域スポーツクラブ」の充実といった、市民がスポーツを楽しめる機会の充実も求められています。

また、市民が考える世界で活躍するスポーツ選手の育成に必要なこととしては、「小さい頃からスポーツに親しめる環境をつくること」が約8割、「いつでも練習できる場所があること」が約7割と多くなっています。

従って、市のスポーツ振興のためには、子どもから大人まで、気軽にスポーツを楽しめる場や機械の充実を図る取組みを強化することが必要となります。

なお、コロナウイルス感染症拡大防止の対応として断続して行われた「緊急事態宣言」の影響を受け、屋内・屋外ともに人が多く集まる場所でのスポーツ活動の減少が見られています。

今後、市民のスポーツ活動が徐々に再開されることを念頭に、コロナウイルスをはじめとする感染症の拡大防止のための対策をさら継続・強化し、市民が安心・安全にスポーツ活動に参加できる環境の整備が必要です。

(2) 競技スポーツを楽しむ環境づくり

市が行っているスポーツイベントでは、約7割の認知度の新春駅伝大会でも、参加経験がある人の割合は約1割と、前回調査と比較して減少しており、市が行っている他のスポーツイベントでも共通した状況となっています。

また、障害者スポーツの認知度は高まっていますが、一緒にスポーツを楽しめる機会に参加したいと回答した人は前回調査と比較して減少しています。

一方で、本年の東京2020オリンピック・パラリンピック開催を受け、障害の有無や国籍等に関わらず市民が多様性を尊重する状態や、市民のスポーツに対する興味・関心の高まっている状態の維持を期待する意見が多く、また、参加しやすいスポーツ行事を増やすしくみづくりが望まれるなど、市民がスポーツ取り組む機運の上昇が見られます。

このような状況を受けて、誰もが、分け隔てなく、手軽にスポーツを始められる機会の充実に向けた仕組みづくりの検討が必要です。

（３）スポーツを支える人づくり

市民のスポーツへの取組意欲は旺盛なものの、スポーツのクラブ・同好会への加入状況は１割半ばと低く、今後の加入意向も前回調査と比較して減少しています。

また、市民のスポーツを支える活動への参加経験は少なく、スポーツイベントのボランティアや地域のスポーツ活動などの運営や支援に対する関心も低調で、スポーツ観戦をする人や、実際に行っている人と比較して非常に少ない水準となっています。

市民のスポーツ活動を推進し、将来にわたって継続的・効果的に実施してもらうためには、スポーツのクラブ・同好会の活動の活性化とともに、スポーツを支えていく人材の育成が必要です。

従って、地域におけるスポーツクラブ・同好会といった団体の活動の支援を図るとともに、スポーツ活動を支える人材の育成や確保を図る取組みの検討・強化が必要です。

（４）スポーツを通じた地域の絆づくり

地域密着型のスポーツクラブとして設置されている「昭島クジラスポーツクラブ」の利用者は、アンケート回答者の１.０%にとどまっています。

また、地域スポーツ振興のコーディネーターとも言えるスポーツ推進委員の認知度も、１割未満と前回調査と比較して半減しています。

しかし、一方では、市のスポーツ推進のためには「地域との連携による、学校や企業等の体育・スポーツ施設の開放・管理」が必要と考える意見も約２割ですが前回調査と比較して倍増しています。

地域におけるスポーツ活動を推進していくことは、市民のスポーツ活動の習慣化につながるだけでなく、人と人との交流を促進し、地域の活力化にもつながることから、身近な地域でスポーツ活動ができる機会と場を確保することが必要です。

従って、市のスポーツ推進に向け、地域のスポーツクラブに対する支援を強化するとともに、地域のスポーツ振興の重要な担い手であるスポーツ推進委員等へのきめ細かな働きかけを通じて、地域でのスポーツ活動のさらなる推進が必要です。

※ アンケート調査の詳細は、別冊「昭島市の市民スポーツに関するアンケート調査報告書」をご覧ください



昭島市スポーツ推進計画

令和4年度～令和8年度

発行年月：令和4年3月

発行：昭島市教育委員会

編集：昭島市教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課

〒196-0033 昭島市東町五丁目13番1号

(昭島市総合スポーツセンター内)

電話：042 (544) 4152

FAX：042 (544) 4159

